

『あしなか』（第1輯～第322輯）山村民俗の会編・発行 総目次

畠堀操八（2022年3月）

この目録は山村民俗の会発行の『あしなか』、第1輯＝1939年（昭和14年）2月創刊～第322輯＝令和3年10月刊の総目次である。

同誌はこれまでに2回、総目録が出版されている。

『あしなか 第九冊（復刻版・全九冊）』（第1～160輯のまとめ、山村民俗の会編集、名著出版発行、昭和57年）

『「あしなか」総目録（第一輯～第二四七輯）』（第248輯別冊、山村民俗の会編集・発行、1997年7月）

これらのまとまった情報を土台にして、総目次のない249輯以降は各号の目次を利用した。

基本的には富士宮市立中央図書館に蔵架の資料を利用したが、同図書館欠号については国立国会図書館のマイクロフィルム・データで補った。

これら活字原稿をOCR（光学読み取りソフト）でテキスト化するだけでは芸がない。折角だから全巻・全ページをめくって校正しながら欠落を補充し、私流の味つけをした。気になる論文・論考については細目次を起こしておいた。

ごくわずかではあるが、人名などの注をいれて索引機能も持たせた。

途中で気づいたことだが、同誌には膨大な量の民俗学関係の図書・雑誌が書評・紹介・広告されている。この情報を取り込めば民俗学の一大文庫になる。

ただし今は時間的余裕がないので、その作業は総目次第2版を立ち上げるときに譲ることにしよう。

とりあえずは不十分なまま、山楽カレッジのホームページに上梓するので、便利な知恵囊としてご活用していただければ幸いである。

○第一輯〈大菩薩特輯〉（昭和14年2月刊）

和田の相馬	岩科小一郎
破魔射場雑考	加藤秀夫
壬午の伝説	岩科小一郎
創刊の辞にかへて	

○第二輯〈道志号〉（昭和14年7月刊）

御正体山論稿	加藤秀夫
鹿留山附近の山名に就いて	加藤秀夫
道志の伝説（断片）	羽賀正太郎
道志山塊の雨乞祭	加藤秀夫

■＝雲罨

山岳地理の提唱
僕達のこと

山村民俗の会同人
岩科小一郎

○第三輯 (昭和 18 年 3 月刊)

市道山考
木を伐る話
煤ヶ谷村話

宮内敏雄
宮崎茂夫
坂本光雄

○第四輯 (昭和 18 年 6 月 1 日刊)

うるし山
木馬のことなど
久通川俚譚抄

宮崎茂夫
宮崎茂夫
神山弘

○第五輯〈奥多摩の雨乞特輯〉(昭和 18 年 9 月 1 日刊)

奥多摩雨乞譚
三頭山麓の雨乞

宮内敏雄
安達秀夫

■ = 雲号

○第六輯 (昭和 18 年 12 月 25 日刊)

巖道峠
御前山対談

坂本光雄
加藤秀夫

○第七輯 (昭和 22 年 11 月刊)

道志俚譚抄
山の神覚書 (旧稿)
柳田先生主著目録〔柳田国男〕

宮崎茂夫
岩科小一郎

○第八輯〈宮内敏雄追悼号〉(昭和 23 年 3 月 2 日刊)

大血川演路 (遺稿) — 考証篇 —
みやとしのこと〔宮内敏雄〕
職場の宮内
『宮敏の憶ひ出』
宮敏と私達
宮敏の遺したもの
宮内敏雄略歴
宮敏労作表

宮内敏雄
羽賀正太郎
宮崎茂夫
加藤秀夫
坂本光雄
岩科小一郎
真鍋健一

○第九輯 (昭和 23 年 7 月 1 日刊)

富士との百日
奈良子誌 — 山梨県北都留郡七保村 —

加藤秀夫
岩科小一郎

○第一〇輯 (昭和 24 年 2 月刊)

大菩薩連嶺誌

岩科小一郎

第一部 大菩薩連嶺誌

序説 地図を抜けて (山系概説)

第二部 大菩薩連嶺の話

荻原山物語 峠の菩薩について 小菅大菩薩の一考察 黒川俚譚 金・金山・大菩薩

小金沢のはなし 杣間書 和田の相馬 奈良子誌 黒岳と小金沢山 ハマイバ考 鹿狩
記 大谷ヶ丸次南 滝子山閑話 源次郎岳を語る 壬午の伝説 岩殿噺

あとがき

○第一一輯 (昭和 24 年 3 月刊)

嘉門治の草鞋 向山雅重
吉野杉の生涯 仲西政一郎
皓い村にてー「雨乞岳を繞りて」第一章ー 大石真人

○第一二輯 (昭和 24 年 5 月刊)

竜爪山民俗誌 村田健蔵
木の芽・草の根 宮崎茂夫
理翁追慕特輯〔小暮理太郎〕
追憶二・三 岩科小一郎
木暮先生のことども 羽賀正太郎
木暮先生追悼 川崎隆章
木暮先生 敬愛生

○第一三輯〈特輯天子山塊の旅〉(昭和 24 年 9 月)

〈紀行〉天子山塊の旅 宮崎茂夫
〈採集帖より〉 宮崎茂夫
富士寒天 椎茸づくり 湯川の藪畑 天子の雨乞祭 ■＝雲罨
〈地誌編〉 宮崎茂夫
毛無山附近 芝川・富士川支流
〈追録〉 宮崎茂夫
大岱の正月ー大河内村大岱 宮崎茂夫
〈地図〉毛無山附近略図 宮崎調査

○第一四輯 (昭和 24 年 8 月)

雨乞岳を繞りてー山梨県北巨摩郡鳳来村風物詩ー 大石真人
皓い村にて(島原) 石を齋く村(教来石) 黝い山の記(雨乞岳) 寒天部落(大武川)
〈地図〉雨乞岳附近図 M・O

○第一五輯〈狩の話〉(昭和 24 年 12 月刊)

獣跡図譜 仲西政一郎 版と刷・若山八十
檜枝岐の熊狩など 川崎隆章
奥高野の狩の話 仲西政一郎
貂の話 鈴木哲太郎
東美濃狩猟聞書 羽賀正太郎
信州遠山郷の狩猟 向山雅重
けものばなし 松岡実
獵人夜譚 宮崎茂夫
「狩」採集標目(抄) 柳田国男『日本民俗学入門』

○第一六輯 (昭和 25 年 8 月刊)

ものがたり奥武蔵 神山弘
伊豆が岳から子ノ山へ 中藤川をめぐる山々 高山不動繁盛記 高麗丘陵に拾う 奥武

蔵と伝説の人 越辺川に沿って 泉沢川小誌 慈光山の伝説

○第一七輯〈民家特輯〉（昭和 25 年 4 月刊）

民家図譜図—石原博士のスケッチ帖より— 石原憲治

秋山村民家調査記	石原憲治
紅殻格子の風物	長尾宏也
草屋根板屋根	宮崎茂夫
奈良子の民家	岩科小一郎
山村の民家	水田健之輔

○第一八輯〈山村特輯〉（昭和 25 年 6 月刊）

奥美濃の山村—山旅人の手記— 森本次男

梅雨の岳（句）	見学玄
〈山村の四季〉伊那路の夏	向山雅重
〈山村の四季〉山村の冬と春	小滝清次郎
〈山村の四季〉山村の秋	川崎隆章
木地屋の墓—伊那谷に於ける—	高須茂
山村珍味譚	宮崎茂夫
夜話	長尾宏也
道祖神のない村—名栗の天王様—	大石真人

○第一九輯〈九州特輯〉（昭和 25 年 8 月刊）

九州の山と民俗	加藤数功
奥祖母乃伝説	立石敏雄
父の彦山詣で	橋本三八
九州の峠	藤崎定雄
玖珠のガータロー	半田康夫
阿蘇民俗譚	北田正三
二豊民俗抄	松岡実
上頓野雑信	大久保勲
九重山の獵人	弘蔵孟夫
奥祖母の修験道	松岡実

○第二〇輯〈関東特輯〉（昭和 25 年 12 月刊）

小菅大菩薩峠の一考察	岩科小一郎
伐採小屋にて	福村善一
遠敷明神見たまゝの記	河田禎
鹿野山より高宕山	宮崎茂夫
関東地方の軒守り絵馬	北条時宗
丹沢の話	坂本光雄

主として札掛附近 秦野雑記 煤が谷村話 宮が瀬村話

○第二一輯〈正月行事特輯〉（昭和 26 年 1 月刊）

山村の正月行事—南会津の山村を中心として— 小滝清次郎

正月魚	向山雅重
-----	------

松迎えと門松	胡桃沢友男
穀占ひ	宮崎茂夫
門入道	武田久吉
山の神の形態	田中新次郎
奥武蔵の正月	大石真人

○第二二輯（関西特輯）（昭和 26 年 2 月刊）

大和月ヶ瀬雑記	沢田四郎作
木曾での採集	西岡一雄
石徹白回想	森本次男
紀川の重軽さま	小谷方明
因幡須賀の山の山村民俗	田中新次郎
四国の民俗	秋山英一
奥吉野の杓子削り	仲西政一郎

○第二三輯（随筆輯）（昭和 26 年 5 月刊）

山と信仰	胡桃沢友男
昔の山案内人	志村烏嶺
高原山南麓の小話三つ	矢島市郎
秩父の峠―側面史的雑考―	原全教
地神塔由来	宮内敏雄
吾妻山の寸影	後藤泰蔵
熊狩昔話	笠原藤七
四国の秘境 椿山の伝説と民俗	秋山英一
あだたら山	久木春男

○第二四輯（天狗帖）（昭和 26 年 7 月刊）

天狗考	高須茂
山陰の天狗話	田中新次郎
天狗の泊り木	加藤洵綾
天狗の絵馬	北条時宗
天狗の爪	野間達郎
天狗再考	水田健之輔
遠山綺談の天狗と山男	向山雅重
天狗ノート	岩科小一郎編

○第二五輯（随筆輯）（昭和 26 年 10 月刊）

頽れゆく鳳凰	大石真人
ボツカについて〔ボツカ〕	胡桃沢友男
山住い	長尾宏也
目黒富士	岩科小一郎

○第二六輯（木曾特輯）（昭和 26 年 10 月刊）

木曾の古道	西岡一雄
木曾の古宿	懶愚平

木曾路・飛騨路 跡部昌三
木曾の山の湯 朝史門
壬戌紀行と岐蘇路記 森本次男
〈地図〉木曾の古道・山・川・峠・邑

○第二七輯 (昭和 26 年 12 月刊)

武藏乃国と其附近山岳に於ける日本武尊信仰伝説に就いて 南博

根室の唄 西村武重
利尻島の話 伊藤隼
秋の山村歳時記（越生附近） 新井良輔
富士川川漁覚書 宮崎茂夫
実説 豊後性祭譚 松岡実
九重山の年の神 立石敏雄
山小屋の話 仲西政一郎
きのこ狂時代 板倉黎子
お正月のことども一付・注連縄について一 西岡一雄

○第二八輯 (昭和 27 年 2 月刊)

入野谷小記 向山雅重
孝行猿と勘助・柏木の民家 熊と闘ふ 野猪と闘ふ 狐・むじな・猪 えんこと鳥・鷹
飼・岩魚釣り 塩・味噌 栗 そば 麻布 山の運搬
〈跋〉向山君を語る 加藤洵綾
〈跋〉向山さんのこと 胡桃沢友男

○第二九輯（山獣特集）（昭和 27 年 4 月刊）

野獣の跡 長尾宏也
狩場明神のこと 仲西政一郎
越後頸城郡伝承 祭文台本 猫又吉十郎
付・祭文語りの話 北条時宗
動物民譚志 江口善次
北海道熊の生態 西村武重
石鎚山地の動物 秋山英一
奥多摩狩猟譚 鈴木哲太郎

○第三〇輯〈卅人集〉（昭和 27 年 6 月刊）

何をすればよいのか 森本次男
海辺の山村 高谷重夫
蛇を祀る話 南博
上州の旅から 水田健之輔
あけびのくちばめ 向山雅重
きつねっぴ 福村善一
狸・田楽刺のこと 吉田太三郎
八島湿原の狐 加藤洵綾
大国見の伊達男 橋本三八

野猿夜話	丹野正
道志の村芝居	羽賀正太郎
北浅川に沿うて	深野富男
上越山村の鎗	長谷川勇
竹縄の話	新井良輔
祖母から傾へ	大久保勲
石鎚山地の民謡	秋山英一
泉岳の雨乞い	小松宏幸
すだれ草	宮崎茂夫
木地屋の座	倉田正邦
巨人の登場する伝説について	大森実
奥祖母の正月	立石敏雄
九州の熊	藤崎定雄
日本全図	加藤秀夫
古湯小記	久木春男
丹沢つべこべ草	吉田喜久治
部落の天使	大石真人
問題	岩科小一郎
甲斐の小角の話	時田豊
朝熊神社小考	森田武雄
採集帖から	牧田満政

○第三輯〈民俗団体特集〉（昭和 27 年 8 月刊）

山の神さまたち	（八戸郷土研究会）小井川潤次郎
八町八反八畝八歩の大沼田	（出雲民俗の会）石塚尊俊
民俗学と常民	（信濃郷土研究会）一志茂樹
とんでもない人がきた話	（磐城民俗学会）内藤岳男
山村の民俗－鹿児島県薩摩郡山崎村泊野－	（鹿児島民俗学会）村田熙
東村聞書	（上毛民俗の会）上野勇
山を思ふ	（高志社）小林存
屋根葺の村－加賀・河北郡英田村興津－	（加能民俗学会）長岡博男
大分県の伝説と民俗	（大分民俗学会）立川輝信
東伯山村閑話－木地屋について－	（鳥取民俗学会）荻原直正
星山部落見聞記－岡山県真庭郡勝山町－	（岡山民俗学会）土井卓治・三浦秀宥

○第三輯〈民俗ノート（1）〉（昭和 27 年 10 月刊）

村の見方	胡桃沢友男
村の見方 参考文献	胡桃沢友男
野帳－山村民俗採集の実際－	向山雅重
民俗資料の整理－写真資料の場合－	小谷方明

○第三輯（昭和 27 年 12 月刊）

豊山雑録	岩科小一郎
------	-------

古峰ヶ原記 山村について 富士の残雪 富士の火祭り 山名覚え書

○第三四輯 (昭和 28 年 3 月刊)

奥武蔵のオーサキ	大石真人
田子倉の「コモツツエ」と「オトコ」	小滝清次郎
雪にひらく祭	丹野正
伝説	田中新次郎
安達太良 山上の古湯	久木春男
浅間村社小考	森田武准

○第三五輯〈峠特輯〉 (昭和 28 年 4 月刊)

峠に就いて	森本次男
峠随想	加藤洵綾
島居峠前後－木曾街道記－	西岡一雄
齒長峠・窓の峠	畦地梅太郎
木曾へ木曾へと－権兵衛峠雑記－	向山雅重
保成峠	久木春男
峠の誕生	森本次男

○第三六輯 (昭和 28 年 6 月刊)

八幡採集記－京都府綴喜郡－	西岡一雄
山村奇譚	松岡実
山の神	田中新次郎
鬼面山の風	久木春男
山村の生活	胡桃沢友男
木地屋の話－主として鈴鹿地方の－	倉田正邦
富士講の登山	岩科小一郎

○第三七輯〈河童草紙〉 (昭和 28 年 8 月刊)

河童昔ばなし	藤崎定雄
天龍川の河童	向山雅重
私の郷里のカッパの話	畦地梅太郎
河童と川灯籠の話	久木春男
豊後の河童	松岡実
河童伝説	田中新次郎
吉四六さんガータロを捕える	松岡実
河童の聞き書	仲西政一郎
せ子の話	立石敏雄
玖珠のガータロー	半田康夫
北斎の河童 (模写)	高須茂
河童膏	文と版 厚川小一
河童雑談	岩科小一郎
河童名彙	日野巖『動物妖怪譚』より
河童の文献	伊藤隼

河童、馬、猿

胡桃沢友里

○第三八輯 (昭和 28 年 10 月刊)

小絵馬の話

北条時宗

〈高田富士〉 高田富士の考古学的考察 別所光一

〈高田富士〉 高田富士 岩科小一郎

○第三九輯〈山の人特輯〉(昭和 29 年 4 月刊)

沙門勝道

武田久吉

念仏僧播隆

穂苅三寿雄

遠山品右衛門翁遺品

向山雅重

山中生活手記

平野長英

伊賀の小天狗

倉田正邦

浅間法円坊

森田武雄

身禄入定

岩科小一郎

○第四〇輯〈雨乞特輯〉(昭和 29 年 6 月刊)

雨乞とは

胡桃沢友男

雨乞に関する二三の問題

高谷重夫

各地の雨乞

八戸雨乞のさまざま

小井川潤次郎

武州御岳をめぐって

大石真人

滝子山の雨乞祭

加藤秀夫

■ = 雲罨

高山の池に雨乞をする習俗

向山雅重

大阪の雨乞

小谷方明

近江高島における禅寺の雨乞

足立東衛

隠岐の雨乞

松浦康磨

鹿児島島の雨乞

村田熙

山陰の雨乞

田中新次郎

伊勢伊賀の雨乞信仰

倉田正邦

雨乞調査報告

○第四一輯〈丹沢の話〉(昭和 29 年 7 月刊)

丹沢山塊の想出

武田久吉

丹沢徒然草

田杭安太郎

丹沢団体登山

丹沢武門譜

中野啓次郎

神の川 長者小舎生活

小園末徳

丹沢風物誌

釜井盛四郎

玄倉の道祖神

近藤勝彦

相州大山の霊石

久崎光生

西丹沢の水車

伊藤堅吉

丹沢の草分け

よしだきくじ

塔ノ岳孫仏記

坂本光雄

○第四二輯〈関西特輯〉（昭和 29 年 8 月刊）

鳥羽街道	西岡一雄
久多のガワ太郎	新井清
近江在原雑記	高谷重夫
近江菅浦の民俗探訪記	足立東衛
湯の町三朝	田中新次郎
木曾の苞	西岡一雄
寒天製造の村を訪ねて－高槻市原村－	小谷方明
紀和山脈の雨乞い	仲西政一郎

○第四三輯（昭和 29 年 11 月刊）

本邦外来登山具史	西岡一雄
ルックザックのこと 登山靴のこと ロープのこと 天幕のこと スキーのこと ピッケルのこと	

○第四四輯（昭和 30 年 2 月刊）

お王が池伝説をめぐって	田中磐
山の動物たち	丹野正
石鎚山と剣山	秋山英一
紙を作る村	久木春男
岩茸を採る話	安藤隆
木馬の話	立石敏雄
御岳講問答	語る人・奥田千之丞 きく人・山本啓作

○第四五輯〈正月特輯〉（昭和 30 年 2 月）

松本の正月	胡桃沢友男
各地の正月行事	
おんべい渡し	伊藤堅吉
穂の餅と杵はだけ	足立東衛
奇祭「墨つけ祭」	安藤隆

○第四六輯（昭和 30 年 5 月刊）

木曾と木曾人	西岡一雄
母＝詩＝	西村武重
在原ばなし	高谷重夫
奥多摩天狗抄	真鍋健一
山村生活あれこれ	胡桃沢友男

○第四七輯（昭和 30 年 7 月刊）

樹にまつわる行事－三重県を中心として－	倉田正邦
おこじよ	北条時宗
鉾山の伝承－開坑の習俗その他－	森村勝
道志炉辺談	伊藤堅吉
河童と熊	藤崎定雄
根室の猟人日記	西村武重

○第四八輯 (昭和 30 年 9 月刊)

卯月	山本啓作
民俗放送所感	長岡博男
放送と民俗	倉田正邦
伊勢富士の浅間さん	芦田潔
北伊勢の長範伝説	水谷弘
日本山岳会創立当時の思い出	志村烏嶺
小沢平開拓地	遠藤孝雄
奥利根の熊ー昭和 28 年の記録からー	厚川小一

○第四九輯 (昭和 30 年 11 月刊)

信州乗鞍山麓雑記	向山雅重
南信スケッチ	加藤洵綾
伯耆大山を眺めつつ歩く	土井卓治
御陵の話	別所光一

○第五〇輯 (昭和 31 年 3 月刊)

クズヤの疑問	武田久吉
岩木山詣りを見る	胡桃沢友男
奥吉野八幡平聞書	仲西政一郎
会に望むこと二三	大石真人
あしなかについてアンケート	
あしなかー一五〇記事目録	

特輯号 民俗資料 山岳資料 会報目録	
会報目録	
表紙を描いて	牧田不二
五〇輯を迎えて	岩科小一郎

○第五一輯 (昭和 31 年 4 月刊)

再び木曾古道について	西岡一雄
猫を借りる話	宮崎茂夫
浦山村獅子舞と来由巻物	荒井貢次郎
北海道標津川の主	西村武重
浅間・山菜記	森田武雄
熊を斬った話	松井惣作
秩父金沢村出牛	水田健之輔
伯耆大山の旅	田中新次郎

○第五二輯〈奥武蔵〉 (昭和 31 年 7 月刊)

奥武蔵について	荏原広成
奥武蔵の交通路の変遷	新井良輔
白岩のおばあさん	大石真人
平村雑記	南博
武蔵国中津川部落 正月行事覚書と旧家辛島氏	荒井貢次郎

秩父夜まつり 森村勝

奥武蔵の樹と人 倉田悟

○第五三輯〈山の女人禁制〉（昭和 31 年 9 月刊）

婦人の登山問題 武田久吉

女人禁制の後山 巖津白花

四国・石鎚山 秋山英一

伯耆の大山 田中新次郎

女人禁制の山 宇曾山ー大分県津野原村ー 松岡実

大和大峰山 道祖土康成

大峰に登った女性 牧田満政

大峰山問題に思うこと 竹内アヤ子

民俗行事に於ける女人禁制 村田熙

木曾駒ヶ岳に女人禁制はなかった 向山雅重

女人禁制をめぐって 胡桃沢友里

○第五四輯 （昭和 31 年 10 月刊）

養蚕の神 三輪善之助

山人の倫理ー播州宍粟郡千種村におけるー 池田和生

東北の鉱山発見伝説 森村勝

武垣のこと 遠藤孝雄

イギレの弁 久田元一郎

奥多摩食習覚書 真鍋健一

大山街道・富士街道

大山みち 岩科小一郎

大山街道ー渋谷から二子までー 南博

○第五五輯 （昭和 31 年 12 月刊）

南部恐山 伊藤隼

神は高所から 三輪善之助

檜枝岐甚句と交易 石川純一郎

島津惟新の背進ー『流残』第一部 西岡一雄

○第五六輯 （昭和 32 年 3 月刊）

泯びゆく山の湯 森本次男

山の夜語り 胡桃沢友男

福島だより

村の正月 久木春男

「早苗振り」と「おんべ」 小滝清次郎

檜枝岐の年中行事 石川純一郎

○第五七輯 （昭和 32 年 5 月刊）

カイヤ・クズヤ問答 向山雅重・児王信久・宮崎茂夫

檜枝岐雑筆 石川純一郎

山村スケッチ抄 加藤洵綾

奥祖母山村の狩の規定	立石敏雄
四国の狐と釣	西村武重
あけび	石川純一郎

○第五八輯 (昭和 32 年 9 月刊)

施餓鬼餅	小井川潤次郎
『流残』第二部 明智光秀の敗走路	西岡一雄
『流残』第三部 義朝のおちたみち	西岡一雄
釣果と釣愉の釣人	西村武重
伊勢の経ヶ峯と白猪山の山麓の民話	倉田正邦
利尻島鴛泊古戦場のことなど	竹内アヤ子
熊狩り	石川純一郎
丹生源流考	笹谷良造

○第五九輯 (昭和 32 年 12 月刊)

山の案内者	平賀文男
養老の滝と釣り	西村武重
木地職分化の伝承類型考―惟喬親王轆轤發明譚などをめぐる問題―	荒井貢次郎
飯豊山麓の木地部落	小野洸
穴沢ばなし	大石真人
本のページ	岩科小一郎
渡り鉾夫覚書	森村勝

○第六〇輯 (昭和 32 年 12 月刊)

木曾路の芭蕉翁―更級紀行旅宿考―	新井清
獅子舞見物	野口冬人
あしなか異聞	秋山英一
地名断語	坂本光雄
葱と牛蒡と虚空蔵さんと―「高山不動」とその伝説・古記録など―	荒井貢次郎
本のページ	岩科小一郎
北辺の狩獵	西村武重

○第六一輯 (昭和 33 年 10 月刊)

小椋村の現状	高谷重夫
鷹取山考	中村昌治
「山相秘録」について	森村勝
本のページ	岩科小一郎
清瀬富士日記	岩科小一郎
武垣	石川純一郎

○第六二輯 (昭和 34 年 2 月刊)

にんぼう談義	高須茂
恐山地蔵縁	竹内アヤ子
伊那山里のくだ話	大塚安子
忘レラレタあしなか	森口雄稔

大栗田のシオキの木バン 佐久間惇一

古書に現れた鉱山の年中行事ー秋田県湯沢松岡金山ー 森村勝

○第六三輯 (昭和 34 年 6 月刊)

殺生伝受事 向山雅重

木曾谷・徳原民俗探訪記 倉田正邦

津江山系の奇祭 松岡実

しろうまの事 加藤洵綾

富士講秘巻 岩科小一郎

○第六四輯 (昭和 34 年 8 月刊)

山風舎夜談 高須茂

八郎談義 花咲爺の犬 沙羅沙羅越えにこと 利根川談義 隅田川ー川船をめぐってー
江戸への水路ー主として米の輸送ルートについてー 甚内霊神縁起ー或る御霊信仰

○第六五輯 (昭和 34 年 10 月刊)

上州・風・雷記 厚川小一

蛇捕りの話 岩科小一郎

木曾・王滝の河虫の佃煮 倉田正邦

ひとだま 岩科小一郎

山語つれづれ 牧田満政

栃の習俗ー木地屋と栃ノ木 田中新次郎

道志村ばなし 羽賀正太郎

種蒔爺さん 加藤洵綾

○第六六輯〈路傍の石〉(昭和 34 年 12 月刊)

口絵・アンコール・ワットの石 写真・風見武秀

路傍の石 三輪善之助

旅人を見ている石仏達 森本次男

信州峠の石仏 加藤洵綾

秩父の巡礼石 大石真人

フタナリの碑など 小井川潤次郎

庚申塔ー江戸川区の場合ー 宮崎茂夫

武州石神めぐり 北条時宗

武蔵野の板碑 大森志郎

江戸後期の道祖神像 武田久吉

○第六七輯 (昭和 35 年 2 月刊)

木曾路の曲物 倉田正邦

「グリーン様の通り道」 大塚安子

おがる如来 北条時宗

甲州の伝説 北村武彦

早池峯山麓 野添憲治

熊の話 石川純一郎

山語つれづれ 牧田満政

富士講の紋章 岩科小一郎
会津檜枝岐の狩詞 石川純一郎
ヲコゼと山の神—なぜヲコゼを山の神に供えるか— 足立東衛

○第六八輯 (昭和 35 年 4 月刊)

信州遠山郷 鎌倉福次郎翁狩獵談 向山雅重
まつりの民俗—綱引資料— 今野円輔
秩父・考古学散歩 津川主一

○第六九輯〈富士特輯〉(昭和 35 年 7 月刊)

富士物価小史—附 役銭のこと— 伊藤堅吉
日の御秘伝 岩科小一郎
食行身禄のお先状 伊藤堅吉
富士祭の麦藁蛇 岩科小一郎

○第七〇輯 (昭和 35 年 9 月)

檜枝岐昔話集 河童火やろう (一) 石川純一郎
炉辺一序に代えて 檜枝岐の昔話について 昔話の語彙など
むかしむかし

河童火やろう 鼠にもらった破れ頭巾 蛇婿 蛇婿その二 べろ切り雀ッ子 蓮の葉売り 炭焼牛松 口のねえめ 口のねえめその二 婆ッ皮 ヌカボコとベネザラ 天人むかし 天人むかしその二 でんずくぼうし 屁ひりめ ぐず 物草太郎 芋漬み 瓜姫 かつう彦四郎 市六どん 蛇亀猿報恩講 茅刈り兎 茅刈り兎その二 川瀬どんと狐 の三郎 川瀬どんと狐の三郎その二 大樺 猿むかし (1) 猿 (2) 大蛇 (3) 鬼だご(団子) どの 瘤八郎左エ門とめっくら長左エ門 猿ぶんどり 屁ひり爺 千 猿まけ 天地白 貉の化物 仙台喜八 五郎右エ 門ばんば さいころ ぶつつありて いさとの化物 狒々の化物 狒々の化物その二 とらおうか

○第七一輯 (昭和 35 年 12 月)

北九州修験秘録 宝満山伏の峰入り 武谷英山房蔵・松岡実校
緒言 法螺の作法 山伏の縁起 階級と服装 垢離の法 荒行の第一歩 本行に入る 頭巾 行場駆入り 入道石の落雷 渡供 長散杖の試打ち 初夜の勤行 施餓鬼作法 徹夜の勤行 九州の総鎮守 灌頂壇 碑伝木 峰めぐり 山伏谷 石小積の跡 御城 内・国主上覧 英山派の前峰と後峰 加持祈祷の沿革 役の行者 秋峰に入る 深山宿 笈吊り・螺吊り 小篠の石小積 山伏の道栞 春峰秋峰の濫觴 十八道立

○第七二輯 (昭和 36 年 1 月刊)

木曾のみち—今と昔— 西岡一雄
子安様 大塚安子
荒船山と物語山 野口冬人
四百二十数年前の富士人穴探検秘録 伊藤堅吉
斜里山道物語 西村武重
アイヌ径 タコ部屋 タコの英雄 伊茶仁市衛と忠類 宿場・駅通所 糸櫛別 金の滝 留辺斯 国境越 山賊に遭う 山女魚

○第七三輯〈続・路傍の石〉(昭和 36 年 6 月刊)

月待供養の信仰	三輪善之助
木地師の祠ー細野部落でー	木下晃
武蔵板碑考	原全教
泉に捧げた絵馬型六地藏石	別所光一
都の西北怪態尊	北條時宗
拓本のとり方	南博
石敢当のこと	高須茂
山の石	羽賀正太郎

○第七四輯 (昭和 36 年 8 月刊)

ザイル今昔	梶原信男
飛騨の焼畑と沢上	桑谷正道
保城峠と高枝原	小滝清次郎
中美濃山間部の病気見舞と香典	脇田雅彦
新倉付近の富士塚	園尾哲郎
静岡県東部の双体神	伊藤堅吉
御殿場市小山町双体神像一覧表	

○第七五輯 (昭和 36 年 10 月刊)

富士山麓粉食誌	伊藤堅吉
粉食の峡 富士山麓 山畑の実り 石臼 稗団子 クルマヤ 枝折 モロコシ粉 コナヤ・ツキヤ 茶の子 オカラコ うめまつ おねり・ホウトウ	

○第七六輯 (昭和 36 年 11 月刊)

南会津探訪	今野円輔
二俣温泉紀行 湯の花温泉長六爺さんの巻	
木曾のチョボクレ	倉田正邦
やけどとしもやけの話	サトー・トシヒコ
丹沢の山窩	根本行道

○第七七輯〈大山特輯〉(昭和 37 年 1 月刊)

相州大山の話	根本行道
相州の大山講	栗原一通
大山の道しるべ	園尾哲郎
八菅修験	中村昌治
八菅の行所	千葉政晴
〈地図〉相州大山と八菅山	
八菅拾遺	加藤秀夫
北豊島台地に残る垢離場	北条時宗
木曾百姓一揆あらまし	津川主一

○第七八輯 (昭和 37 年 3 月刊)

食行身禄のこと・原典三十一日之巻 食行身禄口述 田辺北行筆記 伊藤堅吉校訂・解説	
三十一日の断食入定 三十一日の巻の伝承 身禄の断食登山 田辺十郎右衛門 身禄のミイラ 身禄入定の餞別 身禄の登山行衣 身禄入定の雪茶碗 身禄の道中団扇 身禄	

講談の槌 身禄殿 身禄十三回忌 一刀三拝の身禄像 身禄御影 身禄彫像 富士身禄
曼陀羅 身禄の遺墨 三篇お書の御大幅 一字不説之巻 女人登拝解禁由緒之巻 女人
登拝解禁高札 富士講の御詠歌 不二山御法会定式 御伝 富士講豆辞典

○第七九輯 (昭和 37 年 5 月刊)

秋風帖の旅ー木曾の巻ー	森本次男
大山祇神について	津川主一
越後十日町の小正月	桎谷明
天狗岩の熊	西村武重

○第八〇輯〈創刊二十五周年記念特輯〉(昭和 37 年 8 月刊)

月山と朝日の雪形	小野洸
不遇な雪斑	加藤洵綾
火けし天狗	根本行道
だんだん法師の足跡	足立東衛
南アの伝説	山本朋三郎
備前大賀島寺の春祭	巖津政右衛門
八幡のお八幡さま	松浦謙助
伊那奥の地芝居	古沢肇
竜王山	高谷重夫
大坪山の観音	宮崎茂夫
能郷白山の古名	後藤芳雄
七ツ石山	羽賀正太郎
丹沢の五月十五日	山岸猛男
丹沢の子種石	坂本光雄
ネパールの鉄の竜	梶原信男
夜這い棒上ーニューギニアの話ー	風見武秀
焼畑	藤岡喜愛
東京の採集	今野円輔
わが家の行事	佐藤敏彦
わが家の行事	安部金次郎
おせんが宮	谷口徳子
奥那須ノート	野口冬人
狼の話	仲西政一郎
雪男の鳴き声	津川主一
九重の雪ぐつ	橋本三八
山の宿の P R	園尾哲郎
余呉湖のクモ伝承	野村純一
松の禁忌	中村昌治
ピッケル考	長谷川勇
茨木猪之吉君	西岡一雄
年々歳々	大賀寿二

本地屋の医薬	橘文策
こけしと慶治老	千田岩男
鳴子木地職人の山登り	西田峯吉
伯耆西伯郡地方にみる道祖神の特異性	田中新次郎
歯痛と廁神	大谷忠雄
富士講の庚申	伊藤堅吉
オンタケとミタケ	宮田登
カシラとアタマ	牧田満政
タンノイリ	よしだ・きくじ
熊の絵馬	佐久間淳一
熊	高橋秀男
熊の皮	西村武重
飯岡のツーレンボー	栗生比出子
阿古耶の松	大場聖子
流浪賤民の手向け花	荒井貢次郎
僧都の里	松岡実
木曾の姥捨山	倉田正邦
岩燕の村	石川純一郎
お茶の歩み	丹野正
お茶よりごちそう	向山雅重
ういろう	楠義基
殿様のバラック	大石真人
相模通志について	荏原広成
ヘノコサマ	平野栄次
ありがとうさんー編輯後記ー	岩科小一郎

○第八一輯 (昭和 37 年 10 月刊)

南会津檜枝岐昔話集 河童火やろう (二) 石川純一郎

横取り物の分配 木樵と長者 頓智小僧 狒々の化け物 貧乏神と福の神 泥坊の住家はちがかか 山本左エ門と蜘蛛の化物 左甚五郎 欲深坊主 市兵衛と五郎蔵 重郎太 鈴よこせ 月夜茸と博打ぶち じさまと虚無僧 ぶつつありてい 何ッ鳥 古屋の洩り人柱 旅僧と住持 おたまむかし 空家の墨つぼの化物 ドームとコーム 似たもの夫婦

○第八二輯 (昭和 37 年 12 月刊)

世間話の一側面ー隠岐の化猫譚ー 野村純一

三春町の俗信 村山寿子

そば随筆

そばところどころ 田中新次郎

飛驒のソバ 桑谷正道

信州しなのの 向山雅重

江戸の蕎麦 高須茂

蕎麦ことわざ集

新島繁

○第八三輯 (昭和 38 年 2 月刊)

SEXUAL 道祖神

エと文 伊藤堅吉

キンゼイ博士と性神 双体道祖神 陰陽象形 性器依代 巨陽讃頌 性交讃美 異常性
帯と受胎 神々の性典

○第八四輯 (昭和 38 年 4 月刊)

鬼首の木地師たち

小野洸

日向山伏の丹沢縦走

根本行道

鮭のケリー 北海道山村の履物回顧ー 西村武重

まぼろし

小滝清次郎

折居と寄居

津川主一

富士講の巻物

戸倉英太郎

わか家の身禄像

仁村重治

○第八五輯 (昭和 38 年 6 月刊)

日本木地職発祥地 近江国小椋郷 田中新次郎

木地屋をたづねて近江路へ 小椋郷 蛭谷の筒井神社 木地屋の祖神惟喬親王 小野宮
御偉績考 木地職となる作法 氏子駆 氏子狩の許可の変遷 木地職の本山とその系統
木地屋の庚申と地藏信仰 木地屋発祥地愛智川上流 木地屋と茗荷 木地屋と芸能 筒
井の森 筒井千軒の趾 筒井神社祭礼 惟喬親王八百年忌塔 蛭谷の年中行事 木地 屋
の信仰 木地屋と牡丹餅 木地屋の墓 蛭谷より君ヶ畑へ 金龍寺惟喬親王御厠所 蔵
皇山金龍寺 金龍寺過去帖 金龍寺と大皇神社分霊地 大皇器地神社 君ヶ畑部落構 成
君ヶ畑一年神主 君ヶ畑年中行事 木地師調査について答申書 近江国愛智郡志 古文
書 木地屋の伝承・由緒書の批判

○第八六輯 (昭和 38 年 10 月刊)

成人登山資料

飯豊山詣で

上田亀彦

加賀白山

亀田与三次

伯耆大山

田中新次郎

山上参り

仲西政一郎

うちわ祭

岩科小一郎

秋山谷猿飛橋

加藤洵綾

みなみ山話

野村純一

○第八七輯 (昭和 38 年 12 月刊)

酒談義ー 1437 年以降ー

高須太

檜枝岐狩猟メモ

武田久吉

雲水峯の山ふところ

佐藤昭子

三浦富士

大谷忠雄

シダと山村の民俗

大内尚樹

○第八八輯 (昭和 39 年 2 月刊)

神代文字

北条治宗〔北条時宗〕

南方熊楠先生の旧居訪問 西岡一雄
富士の巻狩り 遠藤秀男
飛騨山風物誌 熊原政男
田舎の人達 西岡一雄

○第八九輯 (昭和 39 年 4 月刊)

秋山紀行 大塚安子

落人の村 秘巻黒駒太子 生き埋め 敬老天国 山立根本の木 嫁簀探し 紙張り 古
いくらし 田造り 気位の高い前倉 茅壁の家 どぶろく造り 耐え忍ぶ子供 雪壁
送り灯

○第九〇輯 (昭和 39 年 7 月刊)

御岳講の成立 宮田登
地藏を語る 三輪善之助
神代文字の本 津川主一
雲ヶ畑のイノシシ狩 岩田英彬
カッパの盆唄 根本行道

○第九一輯 (昭和 39 年 5 月刊)

相馬昔話集 相馬胤道

花さかじじい 猿簀入り 蛙報恩 蛇簀 蛇女房 鯉女房 隣の寝太郎 和尚と小僧
和尚と小僧 和尚と狐 ほととぎすの兄弟 ほととぎすの姉妹 片足脚絆 牛方山姥
姥捨山 皿々山 ごまかし地藏 継子と鳥 猫檀家 磐梯山の黄金 宝化物 安達ヶ原
の奥 三枚の御守 爺さんの病氣直し けちんぼうな家 仲良し饅頭 六部と化猫 話
千両 海老と大鳥 お国じまん 瓜姫 蛇簀入 お月お星 鳥の巣鶏の巣

○第九二輯 (ヒマラヤの人) (昭和 39 年 5 月刊)

ネパールの農家の道具 石原憲治
ネパールの村人 篠田軍治
ヒマラヤの人たち 風見武秀
キャラバンで拾った話 高橋照
ネパールの住家と生活 石原憲治
水河と熱帯の国の人々 向後元彦

○第九三輯 (昭和 39 年 10 月刊)

吉野杉をそだてる山村 保仙純剛
山伏問答 根本行道
大和高原の親王伝説—木地屋資料— 橘文策

○第九四輯 (昭和 40 年 2 月刊)

槌の子蛇 坂井久光
山村散話 熊原政男
雨乞岳 高谷重夫
ワンナの話 渡辺好洋
木地屋文書の周辺 野村純一

○第九五輯 (昭和 40 年 4 月刊)

富士講元祖伝 大行の巻解題 伊藤堅吉

大行の巻 伊藤堅吉校訂

人穴修行 富士登山 弟子を得る 家康と対面 江戸での事件

○第九六輯 (昭和 40 年 6 月刊)

菊花紋の墓 大塚安子

富士山の絵の鏡 斐太山人

田下駄 渡辺好洋

のづち 桑谷正道

田村の干代姫の冢 野村純一

山の神講―青梅市上成木の実例 石川博司

土民測量

土民測量の再興を期待する 大石真人

土民測量故実 牧田満政

○第九七輯 (昭和 40 年 10 月刊)

奥会庫の民俗芸能 小滝清次郎

飛騨の味 熊原政男

信州カクネ里考 阿部和行

カクネ里追記 羽賀正太郎

京都サンヤレ祭 岩田英彬

秋山紀行余談 大塚安子

○第九八輯 (昭和 40 年 12 月刊)

会津木地屋のあるマケの移住史 橋本鉄男

第一部 保城小屋の末裔

高杖原開拓団 背景としての民俗学的風土 二つのマケ 「才」偏のオグラ姓 遺所書
と是高大明神 君之畑本山との接触

第二部 菊地マケの移住史

菊地代々の系図原図 会津若松七日町の居宅 仁平治山への来住 湯本山周辺への漂移
針生山周辺への漂移 保城小屋への定着 入小屋分住事件 名工挿話

解説 木地屋と氏子狩

○第九九輯 (昭和 41 年 2 月刊)

南会津婚姻習俗 ヤレイギョー 石川純一郎

飛騨の熊と猪 熊原政男

御殿場地方の民間信仰 竹折直吉

富士講開祖角行メモ 岩科小一郎

○第一〇〇輯 (昭和 41 年 6 月刊)

小絵馬の研究 北条時宗

序 小の絵解き あとがき

北条さんのこと〔北条時宗〕

○第一〇〇輯別冊 (昭和 41 年 6 月刊)

あしなな記事目録

特輯目録 分類目録 会報目録 執筆者別目録

○第一〇一輯 (昭和 41 年 4 月刊)

北条盛衰記 早雲寺本 解題 根本行道
早雲寺本 北条盛衰記

○第一〇二輯 (昭和 42 年 2 月刊)

十返舎一九と安曇野 高須茂
山村微苦笑記 保仙純剛
蔵王の山開き 森口雄稔
由良川源流地帯の本地屋部落遺跡 岩田英彬
森本先生のレリーフ完成 藤岡治雄
秋田・川連の産育習俗 伊藤雅義

○第一〇三輯 (昭和 42 年 4 月刊)

南信濃にて一恵那から鶯巣まで一 脇田雅彦
大和の一本足 末広昌雄
せき神様由来 巖津白花
恐山の女 浅野明
富士山道中日記 岩科小一郎

○第一〇四輯 (昭和 42 年 6 月刊)

尾張富士 石上げ祭り稿 復刻本
二月十八日の悲劇 笠原藤七
東海道山すじ日記 松浦武四郎
解説・編輯室

○第一〇五輯 (昭和 42 年 9 月刊)

山村の昔話とその伝播者 野村純一
松の民俗伝承 大内尚樹
天理参考館を見る 栗原一通
山俗三具 熊原政男
比良・山名考 阿部恒夫

○第一〇六輯 (昭和 42 年 11 月刊)

富士山東麓の正月行事ー静岡県御殿場地方ー 竹折直吉
餅無し正月 オトシダナ 二番正月 モノツクリ
奥武蔵の山窩ー三角寛博士型山窩のアンタッチャブル虚像を想いながらー 荒井貢次郎
猟装三具ー信州南安曇郡ー 横山篤美
つらぬい わかんじき 蔦棹
尾張富士だより 鈴木克英

○第一〇七輯 (昭和 42 年 12 月刊)

野沢温泉の道祖神祭り
野沢の道祖神 武田久吉
道祖神メモ 片桐久衛
サエの神ー道祖神へのプロローグ 脇田雅彦

秩父浦山郷武士平聞書 末広昌雄
蔵王修験 蔵王国峯道場・霊山の行場 森口雄稔

○第一〇八輯 (昭和 43 年 6 月刊)

高野山奥の弓手原 保仙純剛
鈴鹿山麓の山神祭り 高谷重夫
宮ガ瀬の唐人お里 根本行道
浜平鉱泉 加藤洵綾
こけしを作る山村弥治郎 西田峯吉
箕作りの村・次年子 桎谷明
麻生木地山のヨバイ 橋本鉄男
再び「ハナモジ」について 熊原政男

○第一〇九輯 (昭和 43 年 8 月刊)

村山法印の富士峰修行 遠藤秀男
下関伊郡田野畑村聞書
カバカーと呼ばれるオシラさま 浅野明
ウナネ神様とオサイの神様 浅野明
天保大凶作の伝承 青木松太郎
羽後木地山の人たち 伊藤雅義

○第一一〇輯 (昭和 43 年 9 月刊)

相州栃谷の山ノ神 武田久吉
サエの神小考 脇田雅彦
南会津たより 麦食について 小滝清次郎
弁慶談義 高須茂
ほりどんの話 喜多慶治
由良川源流の木地屋部落遺跡(続) 岩田英彬
雪の農耕占い〔雪形〕 伊藤雅義
岩手県田野畑村河童伝説 青木松太郎
甲賀の忍術屋敷をみる 野口冬人

○第一一一輯 (昭和 43 年 11 月刊)

山の神祭りの紙絵馬 吉田勇
領布の話―埼玉県周辺の周辺から― 斎木攻
領布振る佐代姫 昔話と領布 産神問答 力士と産女 化猫譚 化猫話 猫の報恩 姥
皮譚
神づけの式―イタコがひとりだちになるまで― 江田絹子

○第一一二輯 (昭和 43 年 12 月刊)

西多摩の山の神 石川博司
遠野紀行 田中義広
はじめに 遠野の風土 土淵と佐々木喜善 女馬子の歌 附馬牛にて 早池峰神社と神
楽 紅葉に舞う獅子 遠野の民俗資料
富士山宝水噴火日記 竹折直吉・報

○第一一三輯〈四国木地屋特輯〉（昭和 44 年 2 月刊）

伊予木地屋の移動 橘文策
木地屋のお墨付き 木地屋の集団移住 伊予小椋家の場合 失なわれた特権
阿波剣山麓聞書 山田隆夫
名頃村のこと 木地屋と半田塗 ソギヤと伊予木地屋 村の変遷 飢饉の話など 西山
リョーシ 山の神とお産

○第一一四輯 （昭和 44 年 3 月刊）

秋田の冬のはき物 伊藤雅義
ウダツについて 熊原政男
岩手県田野畑村 山の神の習俗 浅野明
カトマンズで拾った話 高橋照

○第一一五輯 （昭和 44 年 4 月刊）

伊奈の嘘っ話ー伊那谷の昔話ー 野村純一・宮下豊秀編
昔話の伝承 石川純一郎

○第一一六輯 （昭和 44 年 6 月刊）

山形最上・富沢観音の「さんげさんげ」のお行 佐藤義則
さんげのもん 編輯室
伊予路の天狗嘶 末広昌雄
山獺のワカンジキー木曾駒山脈東麓ー 向山雅重
秩父犬 舞田一夫
館山誌 中村昌治
富士登山の文献 遠藤秀男
茨木猪之吉君と私（遺稿） 西岡一雄

○第一一七輯 （昭和 44 年 8 月刊）

浅草木造富士始末 岩科小一郎
富岳紀行 解説 遠藤秀男
富岳紀行 原徳斎

○第一一八輯 （昭和 44 年 11 月刊）

箕をつくる村と箕を用いる儀礼 高橋九一
三ヶ倉沢のうかばに退治の記 笠原藤七
一筆啓上 稲垣武雄
抜け参りの道しるべ 武田久吉
重箱の隅をほじくろう 根本行道
由良川源流の木地屋部落遺跡 岩田英彬

○第一一九輯 （昭和 44 年 12 月刊）

静岡県における正月の民俗 竹折直吉
はじめに コト八日 南遠州の地の神祭り 門松 トシ棚 餅なし正月 初山 粥と種
々の神事 ウナオゾメ 小正月

○第一二〇輯〈山の神特輯〉（昭和 45 年 3 月刊）

藤沢市遠藤の山の神 和田正洲

陸中岩手郡鶯宿の山の神 杉本寿
 山ノ神雑稿 武田久吉
 伊奈の山の神 下平加賀雄
 岩手の山の神さま 高橋九一
 山の神のお使い 山伏神楽に現われる山の神 山の神講 里へくだる山の神
 西山のマタギと山の神 浅野明
 「産神問答」と六部 野村純一
 秋田の山の神 伊藤雅義
 山の神が田の神に 山の神と女性 農山村聚落と山の神 秋田の浦の神
 吉野の山の神 仲西政一郎
 山の神楽 山の神とオコゼ 山の神の宿り木
 山の神メモ 江田絹子
 蔵王修験と山の神と 森口雄稔
 木地屋と山の神の間 橋本鉄男
 山中三助の話 木村弦三
 山の神－日光派マタギの信仰－ 石川純一郎
 山の神の系譜 マタギの流派と縁起 会津小野部落の伝承 日光山 太陽崇拜と小野氏 幸霊信仰
 妻を山の神ということ 高須茂
 山の神舞 田中義広
 山神の形態 足立東衛
 まえがき 日中の山神 神界における山神の位置 印度の持つ類似神 山神形態の成立
 図 金光明王最勝王經の史的価値

○第一二一輯 (昭和 45 年 7 月刊)

鼬女房－吹谷・甚平の昔話－ 野村純一郎
 最初に語る昔話 正月神 蛇婿入 猿婿入 蛙女房 鼬女房 絵姿女房 地藏浄土 機
 地藏 山中田九郎 藁しべ長者 短いむかし 果てなし話(大蛇) 果てなし話(なら が
 ま)

蛭谷氏子駈帳の出版 編輯室

○第一二二輯 (昭和 45 年 8 月刊)

北遠から南信の旅 脇田雅彦
 槌の子蛇後日談 坂井久光
 甲州丹波山村の聞書 舞田一夫
 山の神 狩猟問答 七ツ石神社の賭博

○第一二三輯 (昭和 45 年 10 月刊)

山が御神体の岩木山 江田絹子
 下北半島・釜臥山のヤマカケ 小川博
 山里の首ばなし－山梨県南都留郡－ 大塚安子

○第一二四輯 (昭和 45 年 12 月刊)

飛騨中山物語 熊原政男

○第一二五輯 (昭和 46 年 2 月刊)

湖東の山神と野神	高谷重夫
山と野の神の往来	喜多慶治
近江朽木村針畑の山ノ神	山田隆夫

○第一二六輯 (昭和 46 年 4 月刊)

三幅前垂の話	岩田英彬
瀬峡筏師談	仲西政一郎
唐がらしのふるさと	小谷方明
秋田八幡平の金勢様	浅野明
木曾で聞いた伝説	末広昌雄
『修験』考察	森口雄稔

○第一二七輯 (昭和 46 年 6 月刊)

十二講という山の神	中沢幸男
山獣俚談	佐久間惇一
信州中川村郷談	下平加賀雄

○第一二八輯〈富士特輯〉(昭和 46 年 8 月刊)

導者の撒き銭	岩科小一郎
江ヶ崎様伝奇	大谷忠雄
身禄遺文	岩科小一郎
食行直伝の同行に相渡す書	

○第一二九輯 (昭和 46 年 10 月刊)

上高地杣村語彙	横山篤美編
序	
杣村語彙	

あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行

○第一三〇輯 (昭和 46 年 12 月刊)

おふだ序説	戸川安章
セゴミノの伝承	脇田雅彦
庚申塔の形態	石川博司
富士山導師岳小屋紛失物控帳	好大夫 岩科小一郎
江戸のはなし 蕎麦と団子	高須茂
牛王か牛玉か	戸川安章

○第一三一輯 (昭和 47 年 1 月刊)

巨人三吉伝説の消長	野村純一
疫神送りと避疫神	浅野明
上戸にて	小島瑛礼
東海三県の子供の遊び	杉本誠
多摩川の筏流し	角田益信

○第一三二輯 (昭和 47 年 4 月刊)

若狭からの裏街道一庶民の道	岩田英彬
---------------	------

越後八海山について 高岡功
辻堂雑記 末広昌雄
早池峯山信仰と修験と神楽 森口雄稔
四登拝路 遠野御坂 門馬御坂 江繋御坂 稗貫御坂 新山の説 神楽論 補記

○第一三三輯 (昭和 47 年 8 月刊)

越後・雪形資料 佐久間惇一
座敷ボッコのこと 浅野明
雨乞いの一方法―水かえ行事― 高谷重夫

○第一三四輯 (昭和 47 年 11 月刊)

但馬の国神塚山―木地山紀行― 藤本浩一
梅郷三ツ室の山ノ神―東京都西多摩郡― 石川博司
飛騨の獵師竹次郎のこと 加藤洵綾
江州飯道山行者講 高岡功

○第一三五輯 (昭和 47 年 12 月刊)

萩野の天人女房―才兵衛の昔話― 野村敬子編
解説に代えて 才兵衛のむかし お庚申様のむいがさり どぶんぐろ 郭公母子 梶
屋 山姥と桶屋 文福茶釜 天人女房 取つく引つく 米福栗福 竹伐爺 法螺比べ 法
螺童児 屁ひり嫁 油鼠 道元和尚

○第一三六輯 (昭和 48 年 2 月刊)

修験道に関連する年中行事―宮城県伊具郡丸野町― 武田知岳
1 月 2 月 3 月 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月
平たい鏡餅 森口雄稔

○第一三七輯 (昭和 48 年 4 月刊)

民俗紀行 陸中山形から尻労まで 今野円輔
古老の記憶に残る根羽 下平加賀雄
信州塩尻の大庄屋日記―近世庶民資料の発見― 横山篤美

○第一三八輯〈武田久吉先生追悼〉(昭和 48 年 8 月刊)

武田先生書簡
武田久吉先生略歴
ありし日の武田先生
丸石の道祖神(遺稿)の原稿
地名と植物―『民俗と植物』(昭 2・山岡書店刊)より― 武田久吉
再燃の尾瀬ヶ原貯水池問題 武田久吉
長蔵翁の思い出〔平野長蔵〕 武田久吉
柳田先生と私〔柳田国男〕 武田久吉
尾瀬と共に生きた先生 加納一郎
道祖神の発見者 小花波平六
博士の色紙 伊藤堅吉
『農村の年中行事』 倉田正邦
茨木画伯のスケッチ帖から 岩科小一郎

『君子の過ち』	古沢肇
すばらしい善人	吉田武三
博士が寝めた二人〔小暮理太郎〕〔山口耀久〕	羽賀正太郎
幼き日の思い出	胡桃沢友男
父の客	山岸猛男
祖父を失った思い	土橋進一
叱られっ放し	杉本誠
霧の旅の頃	山崎金次郎
明治は遠く	戸田謙介
丹沢の父	坂本光雄
武田さんの言葉	高須茂
蛇腹のあるカメラ	小野洸
書斎の雑談	岩科小一郎
武田久吉先生著書目録	小野幸編
『博物之友』と『山岳』—雑誌記事目録— 編輯室	

○第一三九輯 (昭和 48 年 11 月刊)

秋葉街道信州路覚え書 沖和雄

はじめに 信州への道その二つのルート 尾根道は修験の廻峰路 山腹の旧道と天竜川の舟運 塩の道というが 水窪の町 水窪の馬方と中馬 西浦〔にしうれ〕の谷 国境の峠青崩 和田の宿と道者達 遠山谷の道 遠山谷と道祖神 上町と峠の茶屋花菱屋 赤石通谷の秋葉みち 小川路峠 道者や馬方の行動力 峠ごえの基地越久保 終点飯田への道 おわりに

○第一四〇輯 (昭和 49 年 1 月刊)

ソリとソリ道	石川博司
丹波美山の年中行事から	西浦左門
槌の子その後	坂井久光
鏡餅(遺稿)	武田久吉
遠野のザシキワラシ	菊池照雄
蜂の子と蜜蜂	山田隆夫

○第一四一輯〈狩の話〉(昭和 49 年 5 月刊)

北越後大栗田周辺の狩猟習俗	佐久間惇一
ヒグマの習性	西村武重
狩猟雑話	西浦左門

○第一四二輯〈修験特輯〉(昭和 49 年 7 月刊)

修験道覚え書	蔵王修験 武田知岳
修験メモ「聖護院宮御峯入次第」	森口雄稔
修験の院号について	浅野明
新野の行人様ミイラ	下平加賀雄

○第一四三輯〈山郷回顧〉(昭和 49 年 10 月刊)

飛州山之村滞在記	杉本誠
----------	-----

妻の神回顧—遠野物語の旅— 小島瓊礼
肘をつきつつ—市場と地名— 高須茂
多摩の細みち 真鍋健一

○第一四四輯〈路傍の神々〉（昭和 49 年 12 月刊）

佐渡河原田の道祖神祭り 高岡巧
十津川の三浦峠とヒダル神 山田隆夫
奥州南部の金勢様 浅野明

○第一四五輯〈女人特輯〉（昭和 50 年 4 月）

最上西郡の「豆こむかし」の周辺について 野村敬子
櫛と口琴 猪爪範子
観音霊異私記 大塚安子
山の舞台装置 中根寛子
鎌倉庚申塔の猿 竹村節子
足手まといのお供—武田先生の思い出〔武田久吉〕— 関原都代
たべもの聞書—遠山郷上村— 岡部真木子
口承文芸と昔話 戸塚ひろみ 佐久間比出子
秩父の山刀 朝岡弘美

○第一四六輯 （昭和 50 年 7 月刊）

丹波美山の俗信百例 西浦左門
阿波のベタ引き運送 末沢春一郎
近世資料から見た雨乞いと天気祭 石川博司
鐘を掘り出して雨を乞う話 高谷重夫
河童禁呪 石川純一郎

○第一四七輯 （昭和 50 年 9 月刊）

ヒダル神語源補考 山田隆夫
肘をつきつつ—草加と水坂 高須 茂
肉附きの面の一変形 岩田英彬
修験の坊号 浅野 明
苗場山をめぐる 脇田雅彦
北秋川の木挽き 石川博司
槌の子考現学 坂井久光

○第一四八輯 （昭和 50 年 12 月刊）

東京の富士塚 岩科小一郎編
東京区部の富士塚
新宿区 高田 富塚 東大久保 成子坂 上落合 新宿 西大久保
渋谷区 千駄ヶ谷
中央区 鉄砲洲
目黒区 元富士 新富士
北区 十条 田端
文京区 音羽 白山

江東区 深砂町
台東区 下谷坂本
大田区 羽田 穴守
練馬区 江古田 下練馬 大泉
板橋区 板橋 上赤塚 下赤塚
豊島区 高松町 池袋
荒川区 南千住
品川区 品川
足立区 花又 大川 五反野 宮元 綾瀬 小右衛門 島根 千住柳原 保木間
江戸川区 小岩 逆井 葛西船堀 葛西雷 葛西長島 葛西下鎌田 平井 葛西篠崎
葛西桑川 葛西中割 葛西今井
葛飾区 飯塚 葛西金町 立石
千代田区 神田柳森
世田谷区 松原

○第一四九輯 (昭和 51 年 1 月刊)

備北の笑話一彦八話その他 野村純一

その一 その二 その三 その四 その五 その六 その七 俵薬師

○第一五〇輯〈百五拾輯記念号〉(昭和 51 年 8 月刊)

採集帖より 檜枝岐年中行事 武田久吉
大菩薩峠の妙見さま 吉田喜久治
伝承話を活字にして残したい 新田次郎
幻の山岳映画発見記 上田竹三
西岡老と森本先生のこと 新井 清
しなぬ路 きき書 南博
奥会津の庚申塔 小滝清次郎
肘をつきつつ 高須茂
丹沢の駒鳥 坂本光雄

特集 1 一期生集合

土民測量の思い出 大石真人
つぼっこ、その他 向山雅重
伊勢局ヶ岳の聞書 仲西政一郎
中国大陸の旅 吉田勇
初心忘れねど 田原宏

特集 2 あれから三十年 山神祭

大菩薩残簡 加藤秀夫
遠い日のこと 宮崎茂夫
『あしなか』創刊前後 羽賀正太郎
五十年如夢 見学玄

『山鉦』報告

ナタ図録 神野善治／山形県 戸川安章／福島県 小滝清次郎／新潟県 佐久間惇一／

東京都 石川博司／埼玉県 小野洸／長野県その他 長沢武／長野県 向山雅重・片桐久
衛・下平加賀雄／飛騨 桑谷正道／岐阜県その他 脇田雅彦／三重県 倉田正邦／京都府
西浦左門／滋賀県 橋本鉄男／福井県 杉本寿／中国・四国 藤本浩一／『山鉦』あとが
き 編集室

○第一五一輯 (昭和 51 年 12 月)

羽前金目の狩猟伝承—修験的猟師の軌跡 佐久間惇一

まえがき

修験約猟師の軌跡

一 小国郷と狩猟

二 金目の発祥と伝承

貉の里 貉の里の異説 金鶏仮説 焼き捨てる石 駒形伝説

三 金目の概観

生業など 村の構成と同族集団

四 村の信仰生活と孫右エ門

鎮守社のこと 孫右エ門家のこと 村人の鎮守社参り 山の神 オタナサマ 不動様
参り 神おろし サブフリマイ

金目の狩猟伝承

一 熊の生態

二 組織

三 猟法

猟場 アナジシトリ デジシトリ オソ

四 以前の服装と猟具

五 山人の禁忌と作法

禁忌・予兆 山言葉と言葉の忌み ツマジロのこと 留守宅の慎しみ

六 捕獲儀礼

七 獲物の処理と薬用法

獲物の分配 薬用その他の用法

八 他地区との交流と唱え

仙地区との交流 唱え・呪文など

九 羚羊猟のこと

十 猿とりのこと

○第一五二輯 (昭和 52 年 3 月刊)

正月行事採集帳—武田久吉聞書 武田久吉

○第一五三輯 (昭和 52 年 5 月刊)

〈ふるさと通信〉山村の十二カ月 西浦左門

一 月 巻き餅 村の御用始め 狐がえり 山姥正月 勘定講

二 月 節分 なるかならんか 初午の頃

三 月 防火祈願に愛宕山参り コブシの花と野良仕事

四 月 嫁起こし今昔 令報物語 ワサビ祭り

五 月 ヨウカビ 植え初め 山村の葵祭

六 月 朴葉飯 雷除けに天神さん参り
七 月 半夏生 天の神さまのハッタイひき 土用の丑の日あれこれ話 ネムの咲く頃
八 月 山村暑中雑話 施餓鬼の参り 寄せ市
九 月 栃の実の熟する頃 芋名月
十 月 祭りとナレズシ 鹿の鳴く頃
十一月 弘法さんと柿の実 カヤ刈り 冬ごもり準備
十二月 ニシン漬けの漬け込み 山の口 お松っあんはやし 餅つき今昔

○第一五四輯〈木地屋特輯〉（昭和 52 年 11 月刊）

木地屋のこと	橘 文策
木地屋の神	西田峯吉
長功雑記―木地屋の零落	山田隆夫
『木地山紀行』以後	藤本浩一
木地屋呼称の問題	橋本鉄男

○第一五五輯 （昭和 52 年 10 月刊）

野荒し柱の立つ村―長野県南安曇郡稲核― 横山篤美
食べる 「檜山節考」 野荒し柱 入れ札 徒党 判持ち 仏事 嫁盗み 嫁その後
家財 救荒食 飯米 裏目

○第一五六輯 （昭和 52 年 12 月刊）

富士山の絵札 岩科小一郎編

○第一五七輯〈信濃特輯〉（昭和 53 年 6 月刊）

「飛騨鯉」の道	横山篤美
夜遊び	向山雅重
白馬岳最初の近代登山者	長沢武
武田久吉博士の八ヶ岳初登山	胡桃沢友男
陽気覚書	武田久吉
どんど焼	三石稔
三九郎焼	平林潤郎
厄落としの道祖神―上伊那郡の事例を中心に―	竹入弘元
白馬山麓の樹木と民俗	長沢武
信州富士見町現代農事暦	岡部真木子
下平加賀雄先主のこと	下平宗男

○第一五八輯 （昭和 53 年 9 月刊）

私の秋山郷訪問記	胡桃沢友男
将門鎖談―肘をつきつつ―	高須茂
飛騨の鬼目札	熊原政男
洛北の大蛇伝説	岩田英彬
続・丹波美山の俗信	西浦左門

○第一五九輯 （昭和 53 年 11 月刊）

上総木更津の出羽三山信仰 岡倉捷郎
一、出羽三山信仰の趨勢

二、三山登拝と行人

供養塔にみる三山講の変遷 三山行人と登拝習俗

三、行屋の忌籠りー精進落とし

四、三山御常火と鑽火行儀

五、八日講の成因と諸相

八日講の成因 八日の諸相ー伊豆島／太田／中島

六、村落生活と行人

村の祈祷師 中島の敬愛講とボンデン立てー中島ボンデン立て／中島の祈祷者集団
御師の廻檀と行人の接触

七、行人の墓と葬制

行人墓の諸相 行人の葬送習俗

八、ボンデン塚と供養

ボンデン塚の分布 ボンデン供養の諸相ーボンデン塚の成因／三山神霊の供養／行人
の祖霊供養 行人から俗人へ

○第一六〇輯〈庚申特輯〉（昭和 53 年 12 月刊）

庚申信仰	小花波平六
庚申塔の話	石川博司
富士御縁年の庚申掛軸と庚申塔	小花波平六
修験と庚申塔	横田甲一
庚申と観音	芦田正次郎
庚申待の習俗	平野栄次

○第一六一輯（昭和 54 年 2 月刊）

狼豺聞書	山田隆夫
祖谷山のオーカミ 鈴鹿のオーカミ 紀州の狼 狼の食掛 大和の狼 海岸の狼 オイ ヌサマ拝借 妙見・三峰・玉置山 狼の産養い 送り狼 口寄せと狼 狼と山犬 狼の ズカキ	
狼の神札	宮崎茂夫

○第一六二輯（昭和 54 年 4 月刊）

岐阜県をめぐるオホシサマ	脇田雅彦
師走八日と目一つ小僧	小川博
奥沢の御岳道者宿	石川博司
沖縄の馬具	山田哲郎
松本地方の子供と盆行事	宮沢光顕
修験 本山補任の道中とその費用	浅野明
缸供養	上田竹三
高須茂さんを憶う	向山雅重
橘氏よ、安らかに	小野洸
橘文策氏が歩いた道	西田峯吉

○第一六三輯〈富士講文書〉（昭和 54 年 9 月刊）

富士講系図の諸相	岡田博
----------	-----

永井照行文書をめぐる推理 宮部栄喜斉
伊勢の川上 岩科小一郎
月旺居士公事の巻 写 岩科小一郎
異国人富士登山訛証文の事 その1 その2 小野洸

○第一六四輯 (昭和54年10月刊)

武州御岳講の組織と運営 西海賢一
幕藩体制確立期の御岳山
御岳蔵王権現の組織—神主、社僧、御師
御師団勢力の伸長と講の展開

○第一六五輯〈東北特輯〉(昭和54年12月刊)

奥会津伊南村小塩山村民俗聞書 湯川洋司
奥州室根山の祭 菊池照雄
朝日修験—古文書と聞書—故佐藤義則君を追悼して 森口雄稔

○第一六六輯 (昭和55年2月刊)

竜南のむかしむかし—静岡昔話ノートから 野村敬子
『ききみみ』歳時記 佐藤義則
佐藤義則前後 野村純一
佐藤義則君追憶 武田知岳
佐藤君との交遊録 森口雄稔

○第一六七輯 (昭和55年4月刊)

蔵王東麓のこけしと木地業—遠刈田木地工人聞書—岡倉捷郎
遠刈田こけしの誕生とこけしの語源 高橋五郎
柄鏡雑考 巖津政右衛門

○第一六八輯〈石神特輯〉(昭和55年10月刊)

『石神問答』刊行七十年に想う 胡桃沢友男
宮城県丸森町の道祖神 森口雄稔
石棒変身 北条時宗
遠野のコンセイ様 菊池幹
性神図絵 版画・北条時宗
茨城の石神さまその他 福島恕
多摩地方の性神たち 石川博司
伊那谷の陽石・陰石の例 竹入弘元
旧軽井沢と戸隠山麓の石像 岡倉捷郎
石神巡礼 藤本浩一

○第一六九輯 (昭和55年12月刊)

米・塩・味噌・酒—信州南安曇郡杣村慣行— 横山篤美
さらしの習俗 武井正弘
奥三河豊根村年中行事 清川信次
花育て 武井正弘
台湾の巨大な陰陽石 森口雄稔

○第一七〇輯〈修験特輯〉（昭和 56 年 2 月刊）

お羽黒石考ー金属民俗学より見た出羽三山信仰ー 内藤正敏

出羽国五峯 森口雄稔

大峯奥駈修行ー秘歌を中心としてー 宮城泰年

栗駒山・神室山・鳥海山 山麓の番楽（遺稿）佐藤義則

大峯山中の前鬼とその行場 慶應義塾大学宮家研究室

病苦と生活苦に立ち向かう山伏 菊池照雄

岩手山と修験のかかわり 浅野明

仏教そのままを奉ずる修験道（遺稿） 松沢山行者 知宗

新潟県北魚沼郡の堀之内町とその周辺における法印さま 高岡功

〈資料紹介〉戊辰戦争に於ける会津山伏の応援人別控・法會人別控 森口雄稔

○第一七一輯 （昭和 56 年 8 月刊）

ツキ・ヒ・ホシー続・岐阜県をめぐるオホシサマ 脇田雅彦

アカッパラ 浅野明

小文間にて 横田甲一

千歯で稲扱き 西浦左門

奥武蔵山村の村落空間 時枝務

○第一七二輯 （昭和 56 年 9 月刊）

白糸の里聞き書ー東京府中市ー 野村敬子

立山のボッカ 写真・福原喜代男

付記・岩科小一郎

おうさきどうかの話 岡田博

狐狸変化雑観 岩田英彬

雪形 岩科小一郎

○第一七三輯 （昭和 56 年 12 月刊）

越後駒山麓の民具ー新潟県北魚沼郡小出町ー 吉田勇

竹製稲扱きの話ー千葉県木更津市鎌足にてー 岡倉捷郎

陸前江島の俗信ー宮城県牡鹿郡女川町ー 伊達大喜

○第一七四輯 （昭和 57 年 2 月刊）

東海・野鍛冶紀行 杉本誠

はじめに

豊橋編 壺 チントンシャンも

式 超ロングセラー吉田鎌

参 二つの鍛冶町

四 特権の週末

豊川編 壺 戦乱の中で

式 一村をつくる

参 神様は花火好き

四 西方からの道

五 城跡に燃える火

知多編 壺 大野谷に生きる
 式 足でママ炊く
 参 小物さまざま
 四 津田助左衛門
二見編 壺 伊勢鎌の興亡
 式 問屋と職人
武生編 壺 越前鎌商人
 式 桶づけと柵置法
高山編 壺 匠子ノート
 式 続・匠子ノート

○第一七五輯 (昭和 57 年 6 月刊)

津軽岩木山神社七日堂の神事 鈴木正崇
明治時代の井川村のことー静岡県安倍郡井川村ー 山本朋三郎
山また山の記 田中義広
盛大だった『あしなか』複製完成記念祝賀会

○第一七六輯 (昭和 57 年 8 月刊)

像容からみた山の神ー十二様地帯の山の神 大護八郎
はじめに
十二様地帯の山の神
十二様地帯 自然神から造形へ 狩人の山の神 山仕事の人の山の神像 道祖神風の
山の神様 赤ん坊を抱く山の神 多彩な山の神の像 山姥 天狗

○第一七七輯 (昭和 57 年 9 月刊)

アンギンとブウトウー信越国境秋山地方のふるい衣生活ー 向山雅重
行徳界限ー千葉県東葛飾郡ー 宮崎茂夫
物部氏の符系と唐松神社ー秋田県仙北郡ー 進藤孝一
穂高町の道祖神 末広昌雄
詣り墓としての湯殿山供養塚ー千葉県馬来田にてー 岡倉捷郎

○第一七八輯 (昭和 57 年 11 月)

檜一本首一つの話ー長野県南安曇郡奈川村文書ー 横山篤美
陰陽石 編輯室
槍ヶ岳開山 播隆上人の新資料 穂苅貞雄
民俗学を育てた 2 人の顕彰碑〔伊能嘉矩〕〔佐々木喜善〕 森口雄稔

○第一七九輯 (昭和 58 年 1 月刊)

熊本・大分県の山の神像 大護八郎
土谷津の石神大明神 浅野明
掛軸から見た地神法印 伊東重信

○第一八〇輯 (昭和 58 年 6 月刊)

富士山のむづかしい神 伊藤堅吉
フイールド・ノートからーモノログに似た断章 武井正弘
噂話の行方 野村純一

狐憑きと先達	大谷忠雄
クセヤマの話	畑聰一郎
案山子異聞	千嶋寿
相州大山周辺の寺社	末広昌雄
民謡と蕎麦	新島 繁
蕎麦（もり・かけ）値段変遷	新島繁編『そば手帳』
「山の神」余話	高橋喜平
ユキバカマとソデボウシー信州秋山郷の雪山への身ごしらえの一面―	向山雅重
秦野のハダカマワリ	飯島吉晴
編集室付記	編集室
秩父の山村日野沢	飯野頼治
わが山伏修行のひとこま	戸川安章
故山追憶	白旗史朗
仁義を切る話	吉田勇
岩村の塞神と安中の道祖神	大島建彦
三猿の源流を求めて	小花波平六
山形県の道祖神	深瀬秀

○第一八一輯 （昭和 58 年 9 月刊）

高麗郷伝説の謎	神山弘
黒竹の里―埼玉県朝霞市内間木―	宮崎茂夫
陸前江島の年中行事―宮城県牡鹿郡女川町―	伊達大喜

○第一八二輯 （昭和 58 年 10 月刊）

庚申三猿図録	横田甲一
私と庚申の猿 関東地方庚申塔の猿 三猿の配列について 猿の性の表現	

○第一八三輯〈修験特輯Ⅱ〉（昭和 58 年 12 月刊）

八ヶ岳の修験道	小林増巳	
「八ヶ岳山麓で古代製鉄の謎に挑む」（『朝日新聞』昭和 58 年 11 月 2 日付）		
山伏の世界―私の羽黒山入峰体験記―		吉田紀子
北国道中旅日記―奥三山参詣にみる旅の今昔―		岡倉捷郎
修験久蔵坊 その歴史と遺跡・遺物―群馬県碓氷郡松井田―		時枝務
陸前浜の修験と法印神楽―雄勝町大浜旧市明院を中心として―		鈴木正崇
石鎚山―歴史と信仰―	西海賢二	

○第一八四輯 （昭和 59 年 3 月刊）

性態道祖神	伊藤堅吉
路頭の石神 対面像 握手像 陰陽石像 抱擁像 陽茎像 祝言像 性器抽象像 像形 アイデア像 痴態像 性器抽象像 接吻像 性器像 性交像 性像の叫び	

○第一八五輯 （昭和 59 年 5 月刊）

岐阜のミツボシ	脇田雅彦
男性群像	編集室
私の見た三大奇岩	笠原藤七

多摩地方の変わり型三猿 石川博司

○第一八六輯 (昭和 59 年 8 月刊)

秩父の筏流し 飯野頼治

猪狩・城峯のお犬様―埼玉県秩父郡―宮崎茂夫

たちかけ―京都府美山町― 西浦左門

三河のおツボ池 高谷重夫

イラクサのこと 脇田雅彦

○第一八七輯 (昭和 59 年 10 月刊)

蜘蛛合戦考―漁民文化としての蜘蛛替玉論― 斎藤慎一郎

はじめに

横浜のホンチとババ

房総半島のネコハエトリ習俗

三浦半島の蜘蛛合戦

加治木の蜘蛛合戦

日本各地の蜘蛛合戦

蜘蛛伝承における二潮流

おわりに

○第一八八輯 (昭和 59 年 12 月刊)

飛騨・宮川村の小祠堂にみる木彫仏―岐阜県吉城郡― 青木自由治

京都北山の山名・地名考 坂井久光

鹿打ち神事 田中義廣

北アルプスにおける雨乞い習俗とその伝承 長沢武

○第一八九輯 (昭和 59 年 12 月刊)

三面川の塩木―新潟県岩船郡朝日村高根― 佐久間惇一

馬による木材運搬 山田哲郎

○第一九〇輯〈富士講〉(昭和 60 年 2 月刊)

富士講抗争史の一断面―村上光清と田辺十右郎エ門の場合― 遠藤秀男

東群馬の富士講 厚川小一

『富士山道知留辺』の校閲者 園尾哲郎

十条富士塚聞き書 小川博

丸星講七浅間随記 宮崎茂夫

仙元様のお怒り 岡田博

清瀬富士の「火の花祭り」 平野栄次

善応空胎惟阿上人 小山一成

○第一九一輯 (昭和 60 年 6 月刊)

三山参りと札所巡礼―「百」のとりもつ“因縁譚”― 岡倉捷郎

“三山・百番塔”の謎

百番巡礼の流行

三山信仰「百」の諸相

道中記が語る板東巡礼

“三山・百番”巡礼は在った

三山御師と檀那場

○第一九二輯 (昭和 60 年 8 月刊)

堅穴式住居のゆえんを探る 小林増巳

女の立ち小便 横山篤美

間引取材 伊藤堅吉

○第一九三輯 (昭和 60 年 10 月刊)

鬼の目・オコゼ・枝打ち一旅のつれづれにー 竹村節子

坂部〔さかんべ〕の的打ち〔ブサ〕祭り 三輪正見

地口行灯 石川博司

足尾大権現 浅野明

熊本県下の焼畑探訪 湯川洋司

○第一九四輯 (昭和 60 年 12 月刊)

富士山出土掛仏 五百年目誌上再会

◇富士山烏帽子岩出土 掛仏移送記 岡田博

◇富士山頂より出土の掛仏について 遠藤秀男

汽車を待つ間の道祖神調査のすすめー武田博士の遺稿に関連してー 胡桃沢友男

富士講のお芝居 岩科小一郎

○第一九五輯 (昭和 61 年 1 月刊)

戸隠中社の講集団ー長野県上水内町ー 岩鼻通明

地名は生き物である 坂井久光

産育に関する習慣ー京都府北桑田郡ー 西浦左門

黄金の夢ー長野県富士見町金山 小林増巳

○第一九六輯 (昭和 61 年 4 月刊)

子供と戯れる神ほとけー飛騨の「あくれ神」と美濃の「なぶり神」ー 青木自由治

安食の魂生さまー千葉県印旛郡 宮崎茂夫

益子焼興亡記 岡部真木子

秩父の奥の宗吾神社ー埼玉県小鹿野町 神山弘

○第一九七輯 (昭和 61 年 7 月刊)

江刺の半日 喜多慶治

口裂け女考 岩田英彬

○第一九八輯 (昭和 61 年 10 月刊)

三国街道湯沢町二居の狩猟習俗 佐久間惇一

火伏せの呪物ー福島県会津地方 飯島吉晴

夏焼の道祖神 浅野明

村を守る祈禱札 西浦左門

小栗伝説と馬頭観音 小山一成

○第一九九輯〈修験特輯Ⅲ〉(昭和 61 年 11 月刊)

葛城修行と行場ー二十八宿の経塚についてー 宮城泰年

甲斐金峯山“道者みち”をゆくー北麓・川上村側の修験遺跡ー 由井港

浜北市赤佐にみるお日待と秋葉代参 岩下典弘
陸中沿岸の神楽と修験 神田より子
病氣治しと山伏 木場明志
南九州の修験と仏像—大円・円龍院・日秀の造仏活動— 根井浄
“三”の持つ意義 森口雄稔

○第二〇〇輯 (昭和 62 年 3 月刊)

将門伝説をめぐって 宮田登
湯田・沢内のこと—岩手県西和賀郡— 畠山豊
祖父と村芝居—長松〔ちょま〕ものがたり— 岡田博
男石神社の絵馬—長野県上田市— 浅野明
山村奇習 入札審判 横山篤美
穂苅三寿雄さんと山岳写真 杉本誠
荒神信仰序説 大護八郎
山の神祭の水ごり 高橋喜平
戸隠の隠れ行場 武井正弘
山伏という名の職業 神山弘
古戸〔ふっと〕の白山祭は花祭りのルーツ?—愛知県北設楽郡 三輪正見
富士山出土の懸仏銘について 沖本博
木食観海上人考 西海賢二

○第二〇一輯 (昭和 62 年 7 月刊)

越生の妖怪ばなし 新井良輔
「八日講」の日—千葉県木更津市の出羽三山講— 高田峰夫
榛名山系の相馬山信仰と黒髪神社 時枝務

○第二〇二輯 (昭和 62 年 8 月刊)

大峯山上ヶ岳の女人禁制 宮家準
峠の呪咀地蔵 大護八郎
『遠野物語』幻視行—花巻温泉郷に出た幽霊譚— 保川昌弘
小泉八雲が会った庚申さま 末広昌雄

○第二〇三輯 (昭和 62 年 10 月刊)

木下〔きおろし〕街道—『木曾名所図会』香取鹿島参詣路より—宮崎茂夫
下総の“赤塗り”百庚申 横田甲一
奈良県における富士信仰碑 仲芳人
〈調査資料として〉五方位に配置された宇宙 森口雄稔

○第二〇四輯 (昭和 62 年 12 月刊)

陸前江島の講行事—宮城県牡鹿郡女川町江島— 伊達大喜
蝸牛の小絵馬 宮部栄喜
《資料紹介》「鹿野山船」の話 岡倉捷郎
中国雲南省 西双版纳の民話—語りの源流を訪ねて— 矢口裕康

○第二〇五輯 (昭和 63 年 4 月刊)

からす天狗のこと 田中義広

十文字峠道	飯野頼治
聖天様の絵馬	市川恭次
扇山の鞍山聖人伝説	扇山文化研究会
女人禁制私考―大峯山の“伝統”と「じゃぱゆきさん」―	伊東早苗
峠路を拾う	杉崎満寿雄

○第二〇六・二〇七輯合併号（昭和 63 年 6 月刊）

北上山地に生きる	菊池照雄
松戸の三面青面金剛	浅野明
すぐき伝説について	岩田英彬
中国旅行に学ぶ	神山弘
十夜と文芸	小山一成
佐渡の性神―おけさの佐渡の魅力溢れる民俗の世界―	吉田ふじ

○第二〇八輯（昭和 63 年 9 月刊）

消えゆく峠を探る―甲州郡内、佐野峠考― 杉崎満寿雄

姥石伝説の謎―信州小布施町雁田山― 竹内栄

陸前江島の葬送儀礼 伊達大喜

油揚げが入るとなぜキツネうどん 宮崎茂夫

続・稲荷と油揚げ 神山弘

○第二〇九輯（昭和 63 年 11 月刊）

鳥居のお飾りと藁製の祝樽	横田甲一
小絵馬の旅	末広昌雄
昔も変わらぬ贈収賄事件	神山弘
北方民族資料室見聞記	杉崎満寿雄
追悼・坪井洋文氏	
近江の廃村をゆく	諸橋三男

○第二一〇輯（平成元年 2 月刊）

岐阜県の雪	脇田雅彦
山から来た嫁ご	野村敬子

大台ヶ原と松浦武四郎―石標が語る松浦武四郎の足跡― 仲芳人

○第二一一輯（平成元年 4 月刊）

〈ふるさと通信〉続・山村の十二カ月 西浦左門

故加藤秀夫氏遺稿

大谷ヶ丸以南	加藤峻岳
富士との百日	加藤秀夫

加藤秀夫氏を偲ぶ

加藤さんと会と私たち	羽賀正太郎
加藤さんの御冥福を祈る	胡桃沢友男
加藤さん断片	宮崎茂夫
寛容の人 加藤さん	小野洸
加藤さんのこと―私の日記より―	森口雄稔

○第二一二輯〈修験特輯IV〉（平成元年8月刊）

白山 加賀禪定道の検証紀行1ー加賀禪定道に布橋灌頂はあったかー 橘礼吉
八戸の三八城神社 宮司 野田健次郎
〈史料紹介〉道中日記ノ事ー修験 三戸梅内文書ー 梅内久弘
長者山の山伏ー青森県八戸市常泉院 森口雄稔

○第二一三輯（平成元年10月刊）

奥武蔵の山岳巨人伝 ダイダイ坊の足跡伝説 藤本一美
続・おうさきどうかの話 岡田博
白馬岳の雪女郎 胡桃沢友男
山寺の怪異ー雨月物語「青頭巾」と食人鬼伝承ー 小山一成

○第二一四輯（平成元年12月刊）

山に登った廿六夜塔ー二つの廿六夜山ー 杉崎満寿雄
西和賀のイタコ 浅野明
平標山小屋の山の神 とよた時
丹沢の炭焼 佐藤芝明
芭蕉と羽黒修験 岩鼻通明
大峰山寺周辺の女人結界碑 仲芳人

○第二一五輯〈秩父特輯〉（平成2年3月刊）

秩父の曳山 作美陽一
〈表〉曳山一覧表
〈表〉秩父郡市曳山年表
秩父屋台の歌舞伎舞台 小野洸
秩父の祭りは何故夜なのか 神山弘
秩父浦山郷武士平聞書 末広昌雄

○第二一六輯（平成2年6月刊）

炭焼き生活を想うー北アルプス山麓安曇村ー 横山篤美
大文字送り火の消炭 岩田英彬
相模川源流の山蜜とり 杉崎満寿雄
追悼・故向山雅重氏
〈遺稿〉伊那路の夏 向山雅重
追憶 向山雅重さん 胡桃沢友男
向山雅重先生のお教えを受けて 塩沢一郎
向山雅重先生を偲ぶ 長沢武

○第二一七輯（平成2年9月刊）

捏造された日本の神々ー下総に神仏分離の遺構を探るー 神山弘
大山の山村民俗見学会の集い 佐藤芝明
うまい水 竹中俊祐
蜘蛛の妖怪ばなし 斎藤慎一郎
虫たちのふるさと 岡倉捷郎

○第二一八輯（平成2年11月刊）

福島県 弥平四郎の狩猟習俗 佐久間惇一
大嘗祭とは 神山弘
寒天屋日記抄 高谷重夫
奥武蔵山村のササラ獅子舞 時枝務

○第二一九輯 (平成2年12月)

北アルプス山麓 木の実と食生活 長沢武
木の実の利用の歴史
苦しかった百姓の生活
家財道具と保有食糧
山村と食生活
「凶作の節夫食ニ相用候品」
そさび（おやつ）としての木の実
主食としての木の実利用

○第二二〇輯 (平成3年2月刊)

陣場山付近の山越え道 杉崎満寿雄
「あしなか」について 小野洸
土俗玩具・土鈴の旅 末広昌雄
洛北広河原の年中行事 岩田英彬
〈天狗・仙人妖怪ばなし（1）〉天狗のはじめ とよた時

○第二二一輯〈山の伝説・昔話〉（平成3年5月刊）

讃岐山村の伝説と昔話 谷原博信
お会式受付での出来ごと 小山一成
〈天狗・仙人妖怪ばなし（2）〉相模大山伯耆坊 とよた時
津軽で語られた岩木山伝説 土田絹子
山と里の接点・猿神退治 竹内栄

○第二二二輯 (平成3年8月刊)

埼玉県北農村の年中行事と植物 岡田博
〈天狗・仙人妖怪ばなし（3）〉高尾山の天狗・飯縄権現 とよた時
鬼の食い残しー昔話短信ー 野村敬子
「甲州秋山郷を歩く会」参加記 松尾翔

○第二二三輯 (平成3年12月刊)

日向椎葉山ー山ものがたり 武井正弘
大宇陀町の高札について 仲芳人
〈天狗・仙人妖怪ばなし（4）〉箱根・道了尊 とよた時
山伏祭文の末裔 小山一成
路傍の七地蔵 杉崎満寿雄

○第二二四輯 (平成4年2月刊)

ある禅寺のお日待ー岐阜県吉城郡観音寺ー 青木自由治
過去帳は語る 小山一成
東丹沢鳥屋の獅子舞 佐藤芝明

〈天狗・仙人妖怪ばなし（5）〉武州御岳桜坊　とよた時
山の伝説―古い山日記より　末広昌雄

○第二二五輯　（平成4年5月刊）

杣村に生きる女たち―北アルプス山麓安曇村―　横山篤美
平成生まれの道祖神　杉崎満寿雄

〈天狗・仙人妖怪ばなし（6）〉立山縄乗坊　とよた時

○第二二六輯　（平成4年7月刊）

丹波美山の言葉と民俗〈前編〉西浦左門
東部ヒマラヤ山麓の村と峠―ブータン王国のトレッキングで見たもの―　松尾翔
国民宿舎そして老舗の宿　小山一成

〈天狗・仙人妖怪ばなし（7）〉房総富津市　鹿野山の鬼　とよた時

○第二二七輯　（平成4年10月刊）

修那羅山記　秋沢英雄
ウガとカイラギの話　大塚安子

〈天狗・仙人妖怪ばなし（8）〉磐梯山の手長・足長　とよた時
丹波美山の言葉と民俗〈後編〉西浦左門

○第二二八輯　（平成4年11月刊）

美濃・徳山村戸入　自然と人々　宮川捨次郎翁・宮川おみな姫談　脇田雅彦
〈天狗・仙人妖怪ばなし（9）〉木曾御岳の天狗を訪ねて　とよた時

○第二二九輯　（平成5年1月刊）

北武蔵の貝祭文―北埼玉の貝祭文遺跡調査ノート　小山一成
再び、カイラギにいて　大塚安子
〈天狗・仙人妖怪ばなし（10）〉岩手山の鬼ヶ城　とよた時
続・絵馬の旅　末広昌雄
〈切り絵紀行①〉早池峰山　遠藤聖一
タラノキ物語―下町の民俗誌―　小海敏雄
民話の里・中国の河北村　矢口裕康
東丹沢の山村民俗を訪ね歩く―集い　杉崎満寿雄

○第二三〇輯　（平成5年3月刊）

越後大円寺と観海上人　吉田ふじ
〈民俗芸能採訪の旅〉「つぶろさし」と「さんぞろ祭」　和田恵三
屋久島原生林と縄文杉―風の中の屋久島登山―　松尾翔
〈天狗・仙人妖怪ばなし（11）〉房総・人骨山の鬼　とよた時

○第二三一輯　（平成5年4月刊）

奥武蔵の山に生きる―歴史と伝承の間で―　柳内賢治
〈切り絵紀行②〉高尾山　遠藤聖一
熱海神社考　大塚安子
遠野　佐比内鉄鉦山と銭座伝承　荒井貢次郎
〈天狗・仙人妖怪ばなし（12）〉中ア・木曾駒濃ヶ池の蛇神　とよた皓
多摩丘陵の自然を歩く―町田市小山田―　斎藤慎一郎

○第二三二輯〈山岳信仰特輯〉（平成5年6月刊）

- 続・八ヶ岳の修験道 小林増巳
「富士永田講」資料について 牛島史彦
〈天狗・仙人妖怪ばなし（13）〉上州武尊山の天狗 とよた時
奈良県における富士信仰碑Ⅱ 仲芳人
甲斐金峯山麓の修験道遺跡 由井港
富士講研究その後 岡田博
日金山東光寺と参詣道 小山一成
〈切り絵紀行③〉八日見 遠藤聖一
相模大山の信仰の今昔 山岸猛男
秩父・風布の山間集落をめぐる―「山村民俗の会」現地探索行事レポート― 末尾翔

○第二三三輯（平成5年10月刊）

- 北ア山中安曇村の習俗 火を守る 横山篤美
身辺雑記 小山一成
〈切り絵紀行④〉金峰山五丈岩 遠藤聖一
善知鳥家の墓と家紋 大塚安子
〈天狗・仙人妖怪ばなし（14）〉上州・迦葉山の天狗中峰尊者 とよた時
〈日向・山の祭り採訪記〉山峡の里に舞う 和田恵三
よしず編み見学会 山田哲郎
私のよしず作り 宮崎茂夫

○第二三四輯（平成5年12月刊）

- 続・丹波美山の言葉と民俗 西浦左門
〈天狗・仙人妖怪ばなし（15）〉仙人・役行者小角 とよた時
クワガタムシ類とカブトムシの方言 斎藤慎一郎
〈切り絵紀行⑤〉影信山 遠藤聖一

○第二三五輯（平成6年2月刊）

- 旧宮ヶ瀬村の伝説 佐藤芝明
〈切り絵紀行⑥〉梅花皮 遠藤聖一
郷土玩具を訪ねて 末広昌雄
〈天狗・仙人妖怪ばなし（16）〉飯綱山・飯縄三郎 とよた時
佐渡の「ちょぼくり」 小山一成
元旦の釜伏山―初参りの思い出― 宮崎茂夫
羽賀正太郎氏、岩科小一郎氏を迎えて平成六年度「山の神講」の集いの報告 松尾翔

○第二三六輯（平成6年5月刊）

- 秩父浦山に生きて―細久保、冠岩、武士平― 飯野頼治
柚の里（遺稿） 柳内賢治
〈天狗・仙人妖怪ばなし（17）〉大峰・前鬼後鬼 とよた時
大鹿村で聞いた話 杉崎満寿雄

○第二三七輯（平成6年8月刊）

- 盆と施餓鬼 高谷重夫

お盆が近い

大塚安子

〈天狗・仙人妖怪ばなし(18)〉金ヶ岳新左衛門仙人 とよた時

秩父・浦山郷をめぐるー平成六年春期・現地探索行事報告ー 松尾翔

浦山郷探索参加記

石井美由紀

○第二三八輯〈お犬信仰特輯〉(平成6年12月刊)

秩父お犬様紀行ー城峰山・両神山・三峯山 秋沢英雄

秩父地方の狼像

松尾翔

埼玉県下のお犬札

中嶋信彰

奥高尾明王峠のニホンオオカミ(遺稿) 柳内賢治

奥多摩二山の石の狼

遠藤聖一

〈スクープ〉昭和三十五年 私もオオカミを見た! 吉田泰邦

丹沢周辺の山犬信仰ー丹沢・桂秋・箱根山城ー 佐藤芝明

〈天狗・仙人妖怪ばなし(19)〉山梨・茅ヶ岳孫右衛門天狗 とよた時

山犬信仰に消された「てんぐ信仰」の謎ー遠州山住様と山の神信仰 平野泰敏

遠江地方のオオカミ信仰

石川純一郎

愛知のお犬信仰

吉村睦志

木曾光前寺の「早太郎伝説」

吉村睦志

犬の物語

宮沢光顕

高谷重夫氏を偲ぶ

○第二三九輯 (平成7年3月)

国境のない村にてー長野県北安曇郡小谷村戸土ー 杉崎満寿雄

〈切り絵紀行⑦〉越後 小国町の生活 遠藤聖一

〈山の祭り採訪記〉奥三河の花祭 和田恵三

奥相模 西原・長作を訪ねるー平成六年秋期現地探索行事報告ー 鳳氣至一広

武甲国境山村 現地探索参加記 小海敏雄

〈天狗・仙人妖怪ばなし(20)〉葛城一言主神 とよた時

□小野洗氏追悼□

岩科小一郎氏の米寿を祝って 盛会だった平成七年度「山の神講」報告 松尾翔

○第二四〇輯 (平成7年5月刊)

東京山ノ手の庚申塔

舞田一夫

〈切り絵紀行⑧〉陸前鮎岳観音 遠藤聖一

〈天狗・仙人妖怪ばなし(21)〉紀伊由良・興国寺の天狗 とよた時

○第二四一輯 (平成7年7月刊)

続々丹波美山の言葉と民俗 西浦左門

オオカミよ、出てきてくれ! 編集部〇生

紀州オオカミ探索行ー“誘い出し大作戦”参加記ー 佐藤芝明

〈切り絵紀行⑨〉相模 愛川町の地神社 遠藤聖一

「金杖」の冢

小山一成

〈天狗・仙人妖怪ばなし(22)〉高野山の天狗・高林坊 とよた時

奥会津 木賊温泉と唐沢峠ー平成七年春期現地探索行事報告ー 山田哲郎

○第二四二輯 (平成7年9月刊)

南会津の山と人―館岩村と観音村と― 吉田武志・雅代
熊曳き歌―信州秋山郷― 杉崎満寿雄
夜神楽見聞記 和田恵三
〈天狗・仙人妖怪ばなし(23)〉北ア・薬師沢の河童 とよた時
露舌考 大塚安子
〈切り絵紀行⑩〉武蔵 阿蘇神社 遠藤聖一

○第二四三輯〈甲武相特輯〉(平成7年12月刊)

奥津久井の折花姫物語―伝承の行方を追って― 栗原祥
甲斐国の山役銭―入会慣行と入会権をめぐる― 荒井貢次郎
大羽根峠・石ぶみの怪―甲州北部都留郡西原・長作 岡倉捷郎
秋川・数馬の思い出 宮崎茂夫
錦繡の武相国境尾根を行く―和田峠から三国峠まで― 松尾翔
奥秩父・唐松尾黒岩を訪ねて 井上勝海
〈切り絵紀行⑪〉羽前 高館山 遠藤聖一
〈天狗・仙人妖怪ばなし(24)〉上州・妙義山の天狗上野妙義坊 とよた時

○第二四四輯〈信州小特集〉(平成8年4月刊)

信州伊那谷の先祖まつり―上伊那郡長谷村・浦― 塩沢一郎
奈川村のサイノカミと厄落とし―野麦街道信州路・南安曇郡 胡桃沢友男
〈山旅紀行〉信州乗鞍高原にて 宮崎茂安
信濃川上 金峰山麓を訪ねて―平成七年秋季現地探索行事報告― 井上勝海
金峰山を仰ぐ村―探索行事参加記 小泉共司
〈天狗・仙人妖怪ばなし(25)〉甲斐駒黒戸尾根・■利天狗 とよた時 ■＝立心偏に刀
追悼 羽賀正太郎氏
宮崎茂夫氏の傘寿を祝って 平成八年度「山の神講」報告 杉崎満寿雄
〈コラム〉・白樺の大往生 松尾翔

○第二四五輯 (平成8年8月刊)

山に祀られた天神―奥相模の天神峠― 杉崎満寿雄
《資料①》奥相模の天神・一覧 (調査・杉崎満寿雄)
《資料②》奥相模の天神・分布図 (制作・小海敏雄)
〈切り絵紀行⑫〉羽前 高館山(その二) 遠藤聖一

○第二四六輯 (平成8年10月刊)

馬力神と馬櫛神 山田哲郎
「神酒の口」のこと 佐藤硯男
天目山のニホンオオカミ―昭和三十五年、秩父オオカミ目撃記― 吉田泰邦
善知鳥さん 大塚安子
続・北武蔵の貝祭文―北埼玉貝祭文遺跡調査ノート②― 小山一成

○第二四七輯〈富士講特輯〉(平成8年12月刊)

富士山の女人登山解禁考 岡田博
一行お花と参行六王―松下家蔵・一行此花書状について― 宮崎ふみ子

安房の富士行者・栄行真山小伝—富士登拝百八度の行者の話— 沖本博

丸不二講と富士塚 平野栄次

私の家と富士講 小川博

丸宝講と斎藤家文書—埼玉県庄和町の大先達— 園尾哲郎

埼玉北部 寄居町の富士信仰—『外八海開人性名道案内』を読み解く— 中嶋信彰

江戸川区富士塚を歩く 宮崎茂夫

富士山絵地図小考 末広昌雄

千葉県安房地方の富士講 山本志乃

奥武蔵の富士巡り 岡倉捷郎

〈切り絵紀行⑬〉越後 米山 遠藤聖一

国立歴史民俗博物館見学記—平成八年秋期行事— 細谷秀治

○第二四八輯 (平成9年7月刊)

伊勢・伊賀の山の神祭祀 石川純一郎

陸中 葛根田川～遠野—切り絵紀行 遠藤聖一

秩父 城峰山の山開き—城峰神社春季大祭見聞記 松尾翔

日向 西米良の夜神楽—民俗芸能探訪の旅 和田恵三

○第二四九輯〈妙見信仰特輯〉(平成9年12月刊)

妙見信仰序説—千葉氏妙見とその源流 沖本博

「妙見」とは 鈴木正崇

相馬地方の妙見信仰 岩崎真幸

「妙見寺」(愛知県春日井市) 提供・吉村睦志

新潟県の妙見信仰 山崎進

埼玉北部の妙見信仰—上州引間妙見寺・鼻高町達磨寺 中嶋信彰

奥武蔵妙見考—我野神社・北川神社と秩父妙見 井上勝海

岐阜県の星之宮、妙見信仰 脇田雅彦

北斗七星・北辰の民俗 倉田正邦

山口県の北辰信仰 金谷匡人

妙見探索紀行 遠藤聖一

江戸・東京 妙見さま巡り 宮崎茂夫

山梨県の大菩薩峠 妙見説—岩科小一郎著『大菩薩連嶺』より 編輯室編

妙見・鍛冶・修験(その一)—赤沢星宮神社と鍛冶絵馬の周辺 山立虎魚

○第二五〇輯〈貳百五拾輯記念号〉(平成10年8月刊)

日向・山をめぐる伝承 矢口裕康

喫煙に関する民俗学的見解 岩田英彬

吉野・国栖奏を訪ねて 和田恵三

山村に仮住まいして 諸角三男

山歩きから村歩きへ 脇田雅彦

「山村民俗」は特異か 青木自由治

比叡にて 亡き姉に捧ぐ—比叡山寒行体験 里吉史行

里山の麓にくらして 中嶋捷恵

山の神の国際化 佐藤芝明
上総の馬車 山田哲郎
猪鹿とテンマル 舞田一夫
猿が摘んだ茶の話 飯島吉晴
三十三人の仲間たちー小村井・鹿取神社、獅子頭巡行 秋沢英雄
奥武蔵に山村民俗を訪ねた頃 時枝務

○第二五一輯〈追悼 岩科小一郎〉（平成 10 年 12 月刊）

和田の相馬 岩科小一郎
富士講の登山 岩科小一郎
『あしなか』の複製に寄せて 岩科小一郎
岩科小一郎ーその足跡 編集室
岩科小一郎『あしなか』掲載稿ー『あしなか』執筆目録・著作目録 編集室
追悼 岩科小一郎

弔辞 岡田博
父の思い出 滝沢礼子

ありがとう 岩科さん

浅野明 荒木正弘 石川純一郎 岩田英彬 大石真人 大谷忠雄 大塚安子 岡田博
小川博 沖本博 風見武秀 倉田正邦 胡桃沢友男 小花波平六 高田真哉 田中紀子
時田豊 野口冬人 平野栄次 宮崎茂夫 宮崎ふみ子 脇田雅彦
岩科小一郎 思い出の写真と葉書

○二五二輯 （平成 11 年 7 月刊）

民俗図譜 天龍川流域シシウチ神事 吉村睦志
女の立ち小便 大塚安子
東京葛飾の木曾御岳講 西海賢二
奥相模 下岩の「おこもり」行事ー津久井郡藤野町佐野川ー 杉崎満寿雄

○二五三輯〈雪形小特集〉（平成 11 年 11 月刊）

妙高山と南葉山の雪形 山崎進
越後・雪形資料 佐久間惇一
富士の残雪 岩科小一郎
行方不明の馬頭観音ー京都・洛北の農村で 岩田英彬
真室川の昔語り 野村敬子
海上灯籠流し

○二五四輯〈遠野地方特集〉（平成 12 年 3 月刊）

遠野しし踊り考 佐々木国允
ザシキボッコ 鎌田奎峰
程洞稻荷から山人へ 大塚安子
〈遠野民俗紀行〉来内にて 鳳氣至一広
『遠野物語』の世界に浸る 長沢武
ものがたる遠野 杉崎満寿雄
遠野採訪記ー早池峯山麓附馬牛聞書ー 岡倉捷郎

○第二五五輯〈庚申信仰特集〉（平成12年7月刊）

庚申塔の邪鬼－江戸西郊の事例 舞田一夫

“窮屈そうな御仏” 仏道の障害者 寛文・延宝時代の邪鬼「獅子邪鬼」と仔獅子 苦 悶
・呻吟する邪鬼「仰向け邪鬼」と「犬邪鬼」「享保の改革」と庚申塔 「子邪鬼」と「渋面
邪鬼」苦痛に耐える三指の邪鬼 邪鬼、豹変して反逆 脚下に竦む二匹の邪鬼 庚申待
の日 倉田正邦

房総の丸彫り三猿－庚申と山王権現 沖本博

丸彫り三猿の分布 山王権現と庚申 山王系庚申塔 再び丸彫り三猿 庚申堂 修験の
問題 結び

○第二五六輯 （平成12年11月刊）

秋田の性神 浅野明

秋田県男根形性神一覧表

信州上伊那 でえもんじとせえ（歳）の神 塩沢一郎

お蚕民俗十八話 佐藤芝明

奥武蔵の湯権現－温泉神と熊野修験・その1 山立虎魚

陸前江島の風（疫病）送り 伊達大喜

○第二五七輯〈山岳信仰特集Ⅰ〉（平成13年6月刊）

日向の天狗伝承 矢口裕康

霊場詣りと名改め－高野山の祖霊信仰 日野西真定

木曾駒ヶ岳の山岳信仰 塩沢一郎

妙高山信仰と「なんぼいさん」 山崎進

武蔵野の戸隠講－江戸期農民の雨乞信仰 西海賢二

戸田羽黒権現の神水－中山道・荒川渡し口 岡倉捷郎

第八回（平成十三年度）「旅の文化賞」の荣誉に輝く 岡倉捷郎

山村民俗の会、創立五十年後の思い出 宮崎茂夫

生きて在る山村の民俗 杉崎満寿雄

「旅の文化賞」表彰式参加記 鳳氣至一広

「旅の文化賞」と『あしなか』 山田哲郎

○第二五八輯 （平成13年9月刊）

鈴鹿山麓 山村に暮らす－岸本美智子覚書・続篇 諸角三男編

カゼフケの話 石田英彬

山形県最後の祭文師－十三代目・計見八重山聞書き 小山一成

「渡」と「尾崎」 大塚安子

旅の文化賞・表彰に寄せて

○第二五九輯・第二六〇輯〈富士・浅間信仰－山岳信仰特集Ⅱ〉（平成13年11月刊）

富士信仰の今昔 岩科小一郎

安房国浅間宮百八番－富士講先達・栄行真山の信仰世界－ 山本志乃

伊勢地方の浅間信仰 倉田正邦

二つの浅間山 小泉共司

芝生浅間と富士講集団－横浜市・鶴見川南部の富士講聞書－ 大谷忠雄

富士を拝む塚 安西勝
新宿区内の富士講聞書 小川博
木花咲耶姫をめぐつて 沖本博
「日神之尊像」考 竹谷靱負
〈史料翻刻〉「烏帽子岩大願成就八海修行」(天保参年壬辰八月十七日)

—もう一つの女人登山 中嶋信彰

〈旅の道ぐさ〉遠野郷の富士山碑—東北を巡る・1 杉崎満寿雄
〈民俗探訪〉清瀬富士塚の火の花祭り 佐藤磧男
〈民俗探訪〉奥武蔵の仙元宮—飯能市畑井の富士講先達 岡倉捷郎

○第二六一輯 (平成 14 年 5 月刊)

秩父の背板 飯野頼治
熊の胆・山菜の話—野麦街道・奈川村の食生活 横山篤美
〈小特集〉=『あしなか』を支えた人びと・その 1
武田久吉先生 浅野明
加藤さんと会と私たち〔加藤英夫〕 羽賀正太郎
横山篤美さんのこと 岩科小一郎
小野洸氏の思い出 大石真人
岩科“御大”と富士講研究会〔岩科小一郎〕 大谷忠雄

○第二六二輯 (平成 14 年 9 月刊)

稲荷の神像を見る—東京都区内・近郊を巡る 舞田一夫
伊勢地方の木地師 倉田正邦
奥武蔵の富士山信仰—飯能市畑井の富士講先達・続篇 岡倉捷郎

○第二六三輯 (平成 15 年 1 月刊)

中井三軒物語り—埼玉北部山麓用土村 岡田博
中井三軒あれこれ譚・その一
中井三軒あれこれ譚・その二
三十一文字に歌う農のいま
用土村はみ出しの記
〈現地探索行事参加記〉「山北のお峰入り」を見る 笹川一夫

○第二六四輯 (平成 15 年 4 月刊)

飛驒宮川村 牛のあしなか—実用品から縁起物へ— 青木自由治
日向の昔話と語り手—宮崎県諸塚村・藤井長治郎の語り 矢口裕康
〈民俗芸能探訪の旅〉一夜官女祭と願掛「土一升」— 和田恵三
山村民俗の伝播と消滅 佐藤芝明
〈山里だより〉紫陽花のまじない—丹波美山町— 西浦左門
山深き“花”の里に祭りの笛の音がきこえる—武井正弘氏の一周忌に憶う— 岡倉捷郎
〈旅の道ぐさ〉窓鋸—東北を巡る・2 杉崎満寿雄
〈旅の道ぐさ〉東海七福神を歩く 宮崎茂夫

○第二六五輯 (平成 15 年 10 月刊)

うぜん大沢郷の山村暮らし—柴田敏子さんの民俗口語り— 野村敬子編・渡辺豊子協力

農業行事の石造物

舞田一夫

常陸郷久慈川流域「金砂大田楽」からの囃言 矢吹一幸

「金砂大祭礼」見聞記

小泉共司

金砂神と水木浜―隠されたもう一つのドラマ― 山立虎魚

〈山里だより・2〉里山の動物たちに異変が?!―奥多摩・青梅市根ヶ布― 中嶋捷恵

〈山里だより・2〉紫陽花のまじない・続報―丹波美山町― 西浦左門

大石真人氏追悼

秋沢英雄 小海敏雄 野口冬人 宮崎茂夫

「中井三軒物語り」（岡田博著）を読む―民俗誌の“社会性”に寄せて

○第二六六輯 (平成16年5月刊)

マムシ見聞記―京都・由良川源流／高地・佐川町 岩田英彬

まむし俗談(抄)

宮内敏雄

〈民俗芸能探訪の旅〉花園村・御田の舞―紀州高野山麓 和田恵三

高尾・金比羅山の山神祭り 佐藤芝明

伊勢の占い民俗

倉田正邦

山村ことわざ抄(上)―北アルプス山麓安曇村 横山篤美

〈山里だより・3〉神饌田・御田植神事―秩父横瀬町 飯野頼治

〈平成十五年秋・現地探索行事参加記〉秩父・羊山丘陵付近を歩く 酒井昌樹

○第二六七輯 (平成16年7月刊)

馬力神・馬櫛神について―馬供養碑分布調査の考察 山田哲郎

馬力神・馬櫛神の分布調査 小泉共司

〈山里だより・4〉「夏は来ぬ」の田園風景―丹波美山町 西浦左門

〈山里だより・4〉山から亀が!―青梅市根ヶ布 中嶋捷恵

〈山里だより・4〉ナガサキアゲハの北上―伊豆東海岸山麓 邑科久乃

○第二六八輯 (平成16年10月刊)

絵馬を備える山の神祭り―新潟県栃尾市栃堀 山崎進

〈民俗芸能探訪の旅〉木葉神社ねんねこ祭り―南紀古座 和田恵三

山村の俗修験―奥武蔵畑井の富士講先達・続々篇 岡倉捷郎

〈旅の道ぐさ〉奥会津への旅―武田久吉記念館と白簾史朗写真館を訪ねる 宮崎茂夫

〈旅の道ぐさ〉天祖神社 石神その後―都内板橋区西台辺を歩く 酒井幸光

〈平成十六年春季探索行事参加記〉奥相模 津久井城山周辺を訪ねる 石森長博

〈編集余滴〉“足半”と会の独自性・その2

○第二六九輯 (平成16年12月刊)

庚申塔の猿を見る―千葉・埼玉・東京・神奈川 舞田一夫

日吉山王の「御幣猿」 独りぼっちの猿たち 三番叟を踏む三猿 邪鬼との不思議な関係「駒曳猿」と奇妙な猿 肥満・痩猿、三疋申 古塔が見せる性表現 艶を競う牝猿たち 性の象徴としての桃

〈旅の草ぐさ〉稲番人形―東北を巡る・3 杉崎満寿雄

〈旅の草ぐさ〉入間野の秋―狭山丘陵沿いを歩く 佐藤碩男

○第二七〇輯 (平成17年4月刊)

秩父 寺平山異聞―謎の大仏とお僧様 飯野頼治

山の薬師と八櫛神ー長野市北麓「ブラン堂」の謎 平沢利夫

常陸高萩市の馬供養碑 山田哲郎

〈山里だより・5〉

「大仏さまの鼻くそ」と「お釈迦さんの鼻くそ」ー丹波美山町 西浦左門

〈山里だより・5〉わが家の庭に南国の蝶が一伊豆東海岸山麓・宇佐美 邑科久乃

〈時の風（切抜帖から）〉棚田を守るー中越被災地より／獣に聞けーインド洋巨大津波

○第二七輯・第二七二輯〈東北特集〉（平成17年8月刊）

岩手の短角牛

畠山剛

遠野と馬ー馬が見られなくなって三十年 菊池健

出羽三山と天宥別当ー湯殿山「両造法論」をめぐる 月光善弘

羽黒山麓手向 雪の道者道ー星野養清坊にて（おか）

会津北部の伝統行事 佐原義春

〈山麓まんが通信〉鳥海山の大神忌神 とよた時

〈旅の草ぐさ〉瓢箪形のカンジキー東北を巡る・4 杉崎満寿雄

ヒタカミ賛歌ー愛しの東北よ、陽ユあだレ 塩野谷明夫

東北地方の稲干し 浅野明

菅江真澄が見た北の山村・その1ー糧を得る風景 杉崎満寿雄

〈未刊記録紹介〉「湯殿山道知留辺」「月山・羽黒山・湯殿山道中記」

ー道中記に見る道奥への庶民の旅 あしなか編集室

○第二七三輯（平成17年12月刊）

写真に見る“ズングリ型”の石鳥居ー甲州明村周辺 井上明生

「江古田富士」登頂記ー東京都練馬区「浅間神社富士塚」酒井幸光

山村ことわざ抄（下）〈遺稿〉ー長野県安曇村 横山篤美

「駒曳猿」の紙絵馬版木 舞田一夫

〈山里だより・6〉田の神の石像ー薩摩・阿久根 柳生康史

〈山里だより・6〉山村の野菜作りー丹波美山町 西浦左門

冬眠しなかったアナグマの話ー奥多摩・青梅市根ヶ布 中嶋捷恵

○第二七四輯（平成18年4月刊）

馬宿六態ー下伊那・会津若松市・福島市・北茨城市・古殿町 山田哲郎

雲仙岳の噴火と地震・津波ー橘南谿『北窓瑣談』に見る 宮崎茂夫

〈コラム〉我が家の柿の木にハクビシンが！ 小海敏雄

災害とムラの神・仏ー中越地震・台風22号宇佐美の事例から 岡倉捷郎

〈現地探索行事参加記〉修験の里・八菅山周辺を歩いて 佐藤千枝子

〈山里だより・2〉頼りない猪垣ー津久井・藤野町 杉崎満寿雄

○第二七五輯（平成18年9月刊）

東京の天狗伝承ー昔話・伝説・世間話に見る 高橋成

天狗伝承の数と分布 天狗の出現場所 天狗の所業 所業の地域特性 天狗の姿

〈資料紹介〉天狗の絵馬 北条時宗

〈山里だより・8〉けち火を見た人の話ー土佐・佐川町永野 岩田英彬

〈山里だより・8〉アマチュア降雪占いー丹波・美山町 西浦左門

○第二七六輯 (平成 18 年 12 月刊)

稲干し六態一手の込んだ干し方を訪ねる 浅野明
冥界からの訪問者〈前編〉―山旅での不思議体験・1 鷲頭隆
下北半島・北上山地にて一通りすがりの見聞記 杉崎満寿雄
〈コラム〉日向でかるたはじまり 矢口裕康
〈山里だより・9〉辛夷の花占い―丹波・美山町 西浦左門
〈山里だより・9〉ハクビシンのこと―青梅市 中嶋捷恵

○第二七七輯 (平成 19 年 3 月刊)

信州開田村 木曾馬回想記―最後の純血馬「第三春山号」の旅立ち 山田哲郎
冥界からの訪問者〈後編〉―山旅での不思議体験・2 鷲頭隆
山上の浅間社碑―奥武蔵“藤原大尽”と富士講先達 岡倉捷郎
〈旅の草ぐさ・4〉奥多摩 高水山で獅子舞を見た
―遠い日のモノクロ写真から 酒井幸光
〈山里だより・10〉三峰山仁王像の行方―鴻巣市 飯野頼治
〈山里だより・10〉「東軍戦死者埋骨地」―「冥界からの訪問者」を読んで 岩田英彬

○第二七八輯 (平成 19 年 6 月刊)

会津の狩猟伝承―狩猟集落と山人のくらし 石川純一郎
I 会津の狩猟集落
狩猟民俗の伝統 狩猟が盛んだった集落 猟師の拓いた村里
II 山人の暮らしと生業―檜枝岐の古猟師・平野惣吉聞書き
狩猟の記録 クマ獲り祝いと皮張り祝い 山小屋泊まりの生活とフンゴミドマリ
狩猟をめぐる忌と禁忌伝承 ネズミの猛威 雪の脅威

○第二七九輯〈「富士塚」小特集〉(平成 19 年 10 月刊)

房総富士塚雑記―野田市木間ヶ瀬・富士塚築造記録の発見 沖本博
「江戸富士塚」と浅間塚―埼玉県富士塚調査その後 岡田博
富塚富士と高田富士―“偏せもの”見聞記 酒井幸光
高田富士の移築と早稲田大学 小川博
破却された山野富士塚―東京調布市深大寺 松家晋
〈民俗芸能採訪の旅〉笑い祭り―紀州日高川町・丹生神社 和田恵三
鴻巣登戸獅子舞と三峰山常夜塔―埼玉県文化財再生記二題 飯野頼治

○第二八〇輯 (平成 20 年 1 月刊)

伊豆青ヶ島巫女の神懸り―神託の身振りをめぐって 村山道宣
木曾馬物語その後―第三春山号の安楽死から現在まで 山田哲郎
〈東北を巡る・5〉山刀・フクロナガサー秋田・阿仁マタギ聞書き 杉崎満寿雄
奥三山参りと里先達―武蔵野西部の「宿坊道者帳」に見る 岡倉捷郎
〈山里だより・11〉雨乞い習俗と天狗―上州南牧村 高橋成
〈旅の草ぐさ・5〉築地市場の石仏―東京・中央区 宮崎茂夫

○第二八一輯・第二八二輯〈中国・四国・九州特集〉(平成 20 年 6 月刊)

安芸高田の簸川伝説―ヤマタノオロチ前史伝承をめぐって 小原清
〈参考〉オロチ伝承の原典 編集室

〈民俗芸能採訪の旅〉青柴垣神事―出雲・美保神社 和田恵三
四国八十八箇所巡拝記―遍路断簡 秋沢英雄
杖立峠のことども―阿波・剣山山麓 松家晋
ゲンバさまとは？―土佐・佐川町 岩田英彬
半ぴのげな話を語りつぐ―日向のおどけばなし 矢口裕康
「一足跳び」考―対馬盲僧の伝言など 村山道宣
〈旅の草ぐさ・6〉「石見銀山」採訪での話―世界遺産指定をめぐって 佐藤芝明
〈旅の草ぐさ・6〉鬼火―薩摩・阿久根市高之口 柳生康史

○第二八三輯 (平成 20 年 9 月刊)

写真図譜 日本の巨樹―幹周り巨樹百選リストより 井上明生
都内最大の富士塚登頂記―東京新宿・成子天神の富士塚 酒井幸光
九月九日考―「重陽」の由来と民俗 倉田正邦
〈山里だより・12〉まむしアレコレ話―丹波美山町 西浦左門
〈旅の草ぐさ・7〉鎌と刀を刻む道しるべ―岩手県岩泉町 杉崎満寿雄
『東西遊記』と南部盲暦 宮崎茂夫
津波が目の前に！―伊豆東海岸・北川 邑科久乃

○第二八四輯〈山の神特集〉(平成 21 年 2 月刊)

伊豆佐野のヤッサモチ―三島市北東部山麓の山の神祭り 渡辺好洋
信州の十二神社巡訪 平沢利夫
山村民俗と「山の神」―相州丹沢から 佐藤芝明
修験銘山神像と掠処―岩手県湯田町 浅野明
東北山の神紀行 大塚安子
〈旅の草ぐさ・8〉山の神は誰なのか―北上・米沢 杉崎満寿雄

○第二八五輯 (平成 21 年 5 月刊)

散田の富士塚考―富士古田御師衆の八王子移住伝承 竹谷靱負
一 吉田御師衆による高尾山の富士浅間社勧請伝承を追う
二 吉田御師衆の八王子移住伝承の謎を探る
三 吉田御師による散田富士塚の築造の謎を追う
映画「オオカミの護符」を観て―里ぴとと山ぴとのあわいに 湯月峻
〈山里だより・13〉続・まむしアレコレ話―丹波美山町 西浦左門

○第二八六輯 (平成 21 年 8 月刊)

山の昔話再考―高橋きくえさん・藤山キミ子さんの語り 野村敬子
紙絵馬版木の謎―岩手県遠野から新潟県小出へ 山田哲郎
〈宮崎茂夫遺稿〉木を伐る話 宮崎茂夫
〈宮崎茂夫遺稿〉私のよしず作り 宮崎茂夫

□宮崎茂夫氏を偲ぶ

秋沢英雄／浅野明／小泉共司／小海敏雄／小滝清次郎／杉崎満寿雄／滝沢礼子／
野村敬子／鳳気至一広／山田哲郎

〈山里だより・14〉明野の陰陽石 井上明生

○第二八七輯〈特集・災害と民俗伝承〉(平成 21 年 11 月刊)

地震・噴火と予知ー前兆現象の実体験と先人の伝承 松崎チヨ子
富士山雪代と山麓農民ー江戸後期史料に見る雪崩災害への対応 竹谷靱負
母と私の地震体験記ー関東大震災と十勝沖地震 小海敏雄
大正大地震と村の子らー伊豆東海岸・宇佐美尋常小学校全生徒の記録から 岡倉捷郎
〈あしなか通信・番外篇〉山登りと私の『あしなか』ー再入会にあたって 清水米一
〈あしなか通信・番外篇〉“クロカゼ”のことー土佐・佐川町 岩田英彬

○第二八八輯 (平成 22 年 4 月刊)

北海道渡島地方の馬具ー列島南北両端のハミなし制御具 山田哲郎
江戸富士塚を巡る・その 1ー千駄ヶ谷富士・高松富士 酒井幸光
民俗夜ばなしー北国の農山村から 浅野明
〈山里だより・15〉“白面”のタヌキと疥癬病ー奥多摩・青梅市根ヶ布 中嶋捷恵
〈山里だより・15〉お札・お守りにも期限切れー丹波・美山町 西浦左門
〈現地探索行事報告〉武蔵野美術大学 民俗資料室見学記 鳳氣至一廣

○第二八九輯 (平成 22 年 8 月刊)

「山人」の原像民俗私考ーターザン・『山の人生』・猿丸太夫 岩田英彬
〈参考〉『山人考』(柳田国男著)より 編集室
静原山の魔所ー京都北山 岩田英彬
石船様探索行ー北武蔵小川町 飯野頼治
〈参考資料〉北足立郡三室村・岩船祭(「四神社閨記」より) 編集室
スキを踏み続けた村ー北上山地から 杉崎満寿雄
〈旅の草ぐさ・9〉晩秋の防波堤釣りー東伊豆・川奈 荒井俊昭

○第二九〇輯 (平成 22 年 11 月刊)

美和町渋谷の山鎮祭ー周防岩国における山の神神事 小原清
島根奥出雲の貝祭文ー祭文語り・浪曲師の系譜 小山一成
江戸富士塚を巡る・その 2ー音羽富士・十条富士 酒井幸光
飛騨山村に祈りの原型〔ルーツ〕を探るー青木自由治氏の死を悼む 岡倉捷郎
〈現地探索行事〉江戸川区の富士塚巡りー平成 22 年秋 宮崎孝志

○第二九一輯・第二九二輯〈中部・北陸・東海特集〉(平成 23 年 4 月刊)

白山信仰と民俗芸能ーかんこ踊の由来と伝承 石森長博
山古志大久保の山の神ー新潟県中越地方 山崎進
木曾御料林における山仕事ー杣夫・大井代次郎氏聞き書き 楯英雄
甲州「桃園」地名考ー櫛形山麓 井上明生
天竜市懐山の年頭行事ー静岡県西部 石川純一郎
〈民俗探訪〉「御石曳き」祭りと築城石ー東伊豆町稲取 邑科久乃
山の常夜灯 刻印を繞る謎ー伊豆宇佐美・「宮内老人」と大正大地震 岡倉捷郎 〈山
里だより・16〉ヒヨドリ群がる季節ー奥多摩・青梅 中嶋捷恵
〈旅の草ぐさ・10〉清瀬市・円通寺「下宿」ふせぎ 佐藤硯男
〈旅の草ぐさ・10〉氷川神社と埼玉の古代史 藤野泰弘
〈旅の草ぐさ・10〉映画『うつし世の静寂に』を見て 山田哲郎

○第二九三輯 (平成 23 年 10 月刊)

山野鳥の季節だよりー丹波美山の山里から 西浦左門
大波野神舞「八関」を見るー山口県の柱松と民俗芸能 小原清
江戸富士塚を巡る・その3ー下谷坂本の富士・東大久保富士・駒込富士 酒井幸光

○第二九四輯 (平成 24 年 3 月刊)

小千谷市山寺の毘沙門様ー新潟県中越地方の民俗行事 山崎進
伊賀の祭文ー歴代の事跡を訪ねて 小山一成
南部踏鋤ー分布と似かよった用具 杉崎満寿雄
民話「ぼなき石」は語るー東伊豆・大川の築城石と民俗伝承 邑科久乃

○第二九五輯・第二九六輯〈特集・石仏と民俗伝承〉(平成 24 年 8 月刊)

阿波の地藏仏と庚申塔 橘禎男
ゆうげん 地藏と新七さまー土佐佐川町・石ぶみにまつわる譚 岩田英彬
〈探訪余滴〉道祖大神と道祖神ー北杜市長坂 平出一治
木曾・開田村の馬頭観世音さま 脇田雅彦
八ヶ岳山麓の橋供養塔ー甲信国境 平出一治
明野の石造物ー山梨県北杜市 井上明生
茅ヶ崎市小和田の性態道祖神ードイツ本『Sexualia』への紹介 小海敏雄
十文字峠越えと一里観音ー武州・栃本から信州・梓山へ 松家晋
天明大飢饉と秩父の石仏 飯野頼治
下名栗の仙元庚申ー奥武蔵小沢・富士行者周辺を歩く(前編) 岡倉捷郎
上州の石祠と騎馬遊牧民族 鷲頭隆
桐ノ城山の石仏と石尊様ー西上州神流町 田中雅史
出羽三山石仏巡りー羽黒山・月山・湯殿山 山崎進
草木供養塔の話ー米沢市田沢にそのルーツを訪ねる 杉崎満寿雄
〈山里だより・17〉こうりゃん今昔話ー丹波美山町 西浦左門
〈旅の草ぐさ・11〉〈平成二十四年春・現地探索行事〉
相模・日向薬師の修験行事を見る 鳳氣至一広

○第二九七輯 (平成 25 年 2 月刊)

明智光秀の祠ー丹波・稲畑村御霊神社の歴史と伝説 岡部一稔
小滝金峰神社のチョウクライロ舞ー鳥海山麓象潟の修験芸能を見る 山田哲郎

○第二九八輯 (平成 25 年 6 月刊)

「おこ地藏」と「ヤカン」の怪異ー横浜市金沢区釜利谷郷の「やぐら」に見る 大喜多紀明
「騎馬民族征服王朝」説の波紋 鷲頭隆
下名栗の仙元庚申ー奥武蔵小沢・富士行者周辺を歩く(後編) 岡倉捷郎
〈山里だより・18〉丹波山地は怖いことばかりー美山町 西浦左門
〈山里だより・18〉造林・造園学の草分けー“秩父の大恩人”本多静六の碑移設 飯野頼治
〈旅の草ぐさ・12〉神々の出征ー岩手県湯田町で聞いた話ほか 浅野明
〈旅の草ぐさ・12〉信州戸隠の橋供養塔 平出一治

○第二九九輯 (平成 25 年 10 月刊)

「悪戸」地名雑考ー東北の地・歴史への仰慕 塩野谷明夫

〈東北を巡る・6〉「カンデッコあげ」と「かんかけ」 杉崎満寿雄

「小串鉦山物故者追悼の標」の話 鷺頭隆

中丸子羽黒権現と日光山―江戸南・多摩川渡し口の前立神 岡倉捷郎

〈旅の草ぐさ・13〉高島平旧聞記―ある老農夫から聞いた話 荒井俊昭

○第三〇〇輯記念〈特集 続・石仏と民俗伝承〉（平成26年4月刊）

善光寺信仰の石仏―新潟県長岡市 山崎進

般若心経碑と空居上人―群馬県下仁田町 時枝務

山中に残された異形の明王像―上州安蘇・足尾山城 鷺頭隆

妙見菩薩と鎮宅霊符尊 沖本博

風化のすすむ磨崖仏―横浜市釜利谷郷白山道奥 大喜多紀明

相模大山山麓の信州高遠石工 杉崎満寿雄

山梨の日輪形丸石道祖神 井上明生

〈山里だより・19〉ジガとヒグラシー丹波美山町 西浦左門

〈山里だより・19〉“鳥獣蟲草木供養塔”を―奥多摩の里山から 中嶋捷恵
土佐の穴地藏―土佐市谷地・岩屋地藏の信仰 岩田英彬

「石屋がいちばん」と「笠地藏」―宮崎県の昔話と石 矢口裕康

〈民俗資料ノート〉石橋供養塔の語るもの・その一

―埼玉県西部地域の分布（Ⅰ） あしなか編集室

〈特別寄稿〉父と『あしなか』のこと―三百輯発刊記念に寄せて 滝沢礼子

〈旅の草ぐさ・14〉これ、「無縁車」―北国の旅人・菅江真澄の日記から 杉崎満寿雄

○第三〇一輯 （平成26年9月刊）

山代神楽覚書―周防岩国北部 小原清

荷鞍造り・岩崎武さんと作品―宇都宮市下戸祭町 山田哲郎

〈民俗資料ノート〉石橋供養塔の語るもの・その二

―埼玉県西部地域の分布（Ⅱ） あしなか編集室

山野を歩き続けた“旅人”―飯野頼治氏を偲んで 杉崎満寿雄

飯野頼治さんを悼む 鷺頭隆

〈山里だより・20〉深見山中「鉤掛けの桜」―丹波美山町 西浦左門

〈旅の草ぐさ・15〉伊豆石探索行―皇居東御苑と伊豆東岸「御石ヶ沢」周辺 荒井俊昭

○第三〇二輯 （平成27年2月刊）

偽文書「日光山天狗立退令」の謎―その民俗性と政治性をめぐって 時枝務

第二次大戦中 避難場所に使われた「やぐら」―横浜市金沢区釜利谷郷 大喜多紀明

東海道「富士の人穴」安置大日如来像 小山一成

〈旅の草ぐさ・16〉秩父オオカミ神社を巡る 高橋修

〈旅の草ぐさ・16〉伊豆三峰社とオオカミ像―熱海来宮神社 邑科久乃

〈山里だより・21〉マメフジの種子まきと花祭り―丹波美山町 西浦左門

〈山里だより・21〉“貧乏山”と“徳山”―富士山北麓 杉崎満寿雄

○第三〇三輯 （平成27年6月刊）

奥武蔵水源の峠道（1）―入間川水源に行く・前編 飯野頼治

「石祠」について―文献に見る石造の祠 関啓司

風祭りー風神・風切鎌・薙鎌 杉崎満寿雄

〈資料紹介〉鎌鼬と天狗風

〈旅の草ぐさ・17〉「まむしの話がおもしろい…」

ー会員・藤崎崇明さんを偲ぶ 荒井俊昭

〈旅の草ぐさ・17〉伊豆の温泉神と龍蛇ー熱海・来宮神社・その1 邑科久乃

〈山里だより・22〉ヨーカビの花折りー丹波美山町 西浦左門

○第三〇四輯 (平成27年10月刊)

京の富士垢離場についてー西国における富士信仰 小山一成

奥武蔵水源の峠道(1)ー入間川水系に行く・後編 飯野頼治

〈民俗探訪〉伊豆大神と伊豆ヶ岳ー奥武蔵畑井・浅見孝三郎翁聞書き その1 岡倉捷郎

〈山里だより・23〉蚕の神様ー丹波美山町 西浦左門

〈旅の草ぐさ・18〉浅野さんと武田久吉先生ー浅野明さんを偲んで 小海敏雄

○第三〇五輯 (平成28年2月刊)

下田街道・忘れられた峠道ー二本杉峠・小鍋峠・広尾峠 その1 鷲頭隆

鳥獣蟲草木供養塔の建立ー奥多摩青梅市 中嶋捷恵

〈民俗探訪〉伊豆大神と伊豆ヶ岳(続編)

ー奥武蔵畑井・浅見孝三郎翁聞書き その2 岡倉捷郎

〈旅の草ぐさ・19〉勝手神社は何社?ー甲州葦崎より 井上明生

〈山里だより・24〉巡回さんの唄ー丹波美山町から 西浦左門

〈あしなか余聞〉蚕影山詣りー下野・川中子 井上茂

○第三〇六輯 (平成28年6月刊)

下田街道・忘れられた峠道(続編)ー二本杉峠・小鍋峠・広尾峠 その2 鷲頭隆

「お蚕様」農家の春夏秋冬ー下野市川中子での少年期回想 井上義雄

「蠶玉大神」の石碑ー甲州北杜市明野にて 井上明生

〈旅の草ぐさ・20〉多賀神社の龍と熊野神ー伊豆の温泉神と龍蛇 その2 邑科久乃

○第三〇七輯 (平成28年10月刊)

(閑伊川上流)川内アクト顛末記ー北上山地を旅する 塩野谷明夫

近藤富士と華表ー列仙伝繡像の丁令威の図を捜す その1 関啓司

伊豆ヶ岳山名縁由私考ー奥武蔵・伊豆山・富士山頂内院 岡倉捷郎

〈山里だより・25〉梅干しの歌ー丹波美山町から 西浦左門

〈山里だより・25〉丹那盆地と火山神ー函南町東部山地・その1 山立虎魚

○第三〇八輯 (平成29年2月刊)

谷文晁画『日本名山圖會』と「天城山」図の誕生 鷲頭隆

石ぶみが教えた大山道ー奥相模の山村から 杉崎満寿雄

近藤富士と華表(続編)ー列仙伝繡像の丁令威の図を捜す・その2 関啓司

〈あしなか余滴・1〉冬の水辺・小感ー事務所から 塩野谷明夫

〈旅の草ぐさ・21〉蠶霊神・蠶影山・替影神社ー甲州葦崎市・甲斐市より 井上明生

○第三〇九輯 (平成29年6月刊)

〈山里探訪〉高麗川水系の峠道ー奥武蔵水源に行く・その2 飯野頼治

汗馬山とその山名由来ー信州下伊那郡下條村・阿南町境界 山田哲郎

多摩川下流・羽黒社と民俗信仰

- －『江戸名所図会』「中丸子羽黒権現」を絵解く・その1 岡倉捷郎
- 〈山里だより・26〉里芋あれこれー丹波美山町から 西浦左門
- 〈旅の草ぐさ・22〉奥武蔵・伊豆ヶ岳周辺を歩く
- －『あしなな』の報告を辿って 荒井俊昭

○第三一〇輯〈東北特集〉（平成29年10月刊）

“縄文都市”三内丸山遺跡で見たー「行くぜ！東北」を合い言葉に 酒井幸光
仕掛け弓・雑考ー菅江真澄 蝦夷地・北東北の旅日記より 杉崎満寿雄
「米守り」の歴史と伝播ー菅江真澄「すすきの出湯」に導かれて 関啓司
岩手県下閉伊郡旧川井村訪問記ー村内・川内村明戸探訪 塩野谷明夫
『遠野物語』三姉妹神話と伊豆権現

- －「石神問答」に見る佐々木喜善との往復書簡より 岡倉捷郎
- 丸森町大内の山伏神楽ー宮崎県最南端・修験の山里 鈴木悦郎
- 飯豊山登拝記 山崎進
- 「軽井沢」の地名由来を考えるー会津柳瀬町にて 荒井俊昭
- 〈山里だより・27〉天栄山麓 温泉神と薬湯伝承
- －南会津秘湯・見たり聞いたり（1） 山立虎魚
- 〈旅の草ぐさ・23〉草餅の民俗ー下野国分寺と熊谷妻沼・聖天様 井上義雄

○第三一一輯（平成30年2月刊）

松平定信制作・谷文晁画筆『公余探勝図』

- －誕生の時代的背景と、描かれた風景をさぐる 鷲頭隆
- 菅江真澄の万葉仮名ー「ニハナカ」の歌と地名「ヒロサキ」 関啓司
- 〈山里だより・28〉「雪ん坊」の降雪予報ー丹波美山から 西浦左門
- 〈山里だより・28〉「軽井沢」は火山・金属地名か
- －静岡県函南町東部山地・その2 山立虎魚
- 〈旅の草ぐさ・24〉賽の河原の風ぐるまー下北半島・恐山 杉崎満寿雄

○第三一二輯（平成30年6月刊）

松平定信制作・谷文晁画筆『公余探勝図』

- －誕生の時代的背景と、描かれた風景をさぐる〈中編〉 鷲頭隆
- 栗ヶ岳の雪形（一）ー新潟県中央部 山崎進
- 多摩川下流・羽黒社と民俗信仰〈後編〉

- －『江戸名所図会』「中丸子羽黒権現」を絵解く・その2 岡倉捷郎
- 〈旅の草ぐさ・25〉「木呂子」という地名を追って
- －埼玉県小川町周辺はタタラの里か 荒井俊明

○第三一三輯〈西南日本特集〉（平成30年10月刊）

九州の河童、そして宮崎の河童ー聴き書き記録から 矢口裕康
中江岩戸神楽の現在ー阿蘇市波野 湯川洋史
宿場町・大村松原付近の風習

- 昭和三十～四十年代・旧長崎街道沿いの暮らしと民俗 井上義雄
- 宝満山覚書ー二、三の問題をめぐって 時枝務

阿波の霊峰・剣山―表口からの思い出 松家晋

見島に日本在来和牛を探訪する―山口県萩市 山田哲郎

隠岐島前「海上の神火」―焼火神社探訪の回想と山村民俗の会 岡倉捷郎

〈山里だより・29〉死を予知した話―丹波美山から 西浦左門

〈旅の草ぐさ・26〉女は神人、男は海人―沖縄・久高島 杉崎満寿雄

○第三一四輯 (平成31年2月刊)

松平定信制作・谷文晁画筆『公余探勝図』

―誕生の時代的背景と、描かれた風景をさぐる〈後編〉 鷲頭隆

赤井温泉の話―横浜市金沢区釜利谷東 大喜多紀明

「北条性神版画」と『永江写真』―『あしなか』一六八輯・表紙絵の正体 関啓司

〈事務所余話・2〉ある沼の冬景色 塩野谷明夫

○第三一五輯 (令和元年6月刊)

路傍の小祠と三面大黒像―埼玉県熊谷市郊外の大黒天信仰 石黒繁夫

湯沢町の雪形―新潟県南魚沼郡 山崎進

「海上の神火」の成因と焚火山信仰―隠岐・焼火神社探訪の回想〈続編〉 岡倉捷郎

〈あしなか余聞〉大石真人さんと「土民測量」 小海敏雄

〈あしなか余聞〉大石真人さんの思い出 中原国雄

〈山里だより・30〉天栄山の金山伝承と霊泉

―南会津秘湯・見たり聞いたり(2) 山立虎魚

○第三一六輯・第三一七輯 (令和元年10月刊)

〈民俗ポクポク歩き〉東北の中の熊野信仰〈遺稿〉 大塚安子

熊野新宮阿須賀神社の御正体 時枝務

熊野へ―小辺路紀行 杉崎満寿雄

熊野古道を歩く―十津川村から本宮・新宮・那智へ 佐藤碩男

熊野権現と温泉の神々―伊豆地方における熊野信仰の伝播・その1 岡倉捷郎

〈旅の草ぐさ・27〉写真に見る東北の熊野神社 写真と文・関啓司 塩野谷明夫

〈山里だより・31〉熊野修験の奉納札に出会う―奥武蔵・外秩父の里山にて 荒井俊昭

○第三一八輯 (令和2年6月刊)

『石棒・石棒』小考〈前編〉―石亭も「石之棒」と坪井の「いしのぼう」 関啓司

栗ヶ岳の雪形(二)―新潟県中央部 山崎進

〈山里だより・32〉放屁三題話―丹波美山から 西浦左門

〈旅の草ぐさ・28〉みちのくの果て―下北半島・西通 杉崎満寿雄

〈資料〉(一九八一年度)

〈山村民俗の会・会員諸兄〉地方における熊野信仰調査のお願い 山村民俗の会事務局

○第三一九輯 (令和2年10月刊)

武蔵野台地の「ヤマ」と暮らし―埼玉県三芳町周辺 井上浩

『石棒・石棒』小考〈後編〉―石亭の「石之棒」と坪井の「いしのぼう」 関啓司

「湯尾権現」と疫神伝承―伊豆地方における熊野信仰の伝播・その2 岡倉捷郎

〈旅の草ぐさ・29〉奥武蔵伊豆ヶ岳から伊豆山へ

―『神龍の棲む火の山』(岡倉捷郎著)と温泉神巡り 杉崎満寿雄

○第三二〇輯 (令和3年2月刊)

北陸の八百比丘尼伝承〈前編〉—福井県 石森長博

長崎・栃木におけるスペイン風邪と天然痘—コロナ感染の中で 井上義雄

松平定信制作・谷文晁画筆『公余探勝図』

—洋風画史におけるその軌跡をさぐる〈完結編〉その1 鷺頭隆

〈旅の草ぐさ・30〉シルクロード、夢ものがたり—半世紀前を旅する 岡野友宏

○第三二一輯 (令和3年6月刊)

木曾駒ヶ岳登山史と山麓の歴史民俗—長野県上松市より・その1 楯英雄

松平定信制作・谷文晁画筆『公余探勝図』

—洋風画史におけるその軌跡をさぐる〈完結編〉その2 鷺頭隆

北陸の八百比丘尼伝承〔後編〕—石川・富山県 石森長博

〈山里だより・33〉川越市福原地方の「ヤマ」—武蔵野の畑作農家聞書 井上浩

〈山里だより・33〉草餅のいろいろ—丹波美山から 西浦左門

〈旅の草ぐさ・31〉天城湯ヶ島の湯谷権現—世古之滝・釜石山麓にて 岡倉捷郎

○第三二二輯 (令和3年10月刊)

“悪疫退散”を祈る—二〇二一年十月列島の片隅から—『あしなか』編集室編

“アマビエの図”私考—弘化三年「肥後国海中の怪」の謎— 関啓司

東京・調布市 深大寺降魔の鬼—元三大師守護御影— 小海敏雄

県境にらむ「鹿島様」—秋田の道祖神— (朝日新聞'20・6・16)

白山神社本社 疫病鎮静祈願—伊豆山山中・岩蔵谷—

小室神社「愛宕大権現」コロナ終息祈願—川奈・小室山山頂— (伊豆新聞'20・6・6)

奈良「晴れ祈願の寺」てるてる坊主大集合 (朝日新聞'21・7・13)

ハンセン病患者心明行者によって開かれた木曾駒ヶ岳上松道

—長野県上松町より・その2— 楯英雄

〈山里だより・34〉獅子踊りと云うは鹿の舞なり—遠野にて— 杉崎満寿雄

〈旅の草ぐさ・32〉音無ノ杜の湯尾権現祭—伊東市竹の内 邑科久乃